

APPROACH

KOBE No. 41

2012.1.31

2012



特別企画

『東日本大震災復興支援活動報告』



APPROACH No.41

(社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

APPROACH No.41

巻頭挨拶	新年を迎えて	神戸支部長	山本康一郎	・ 1
	新年のご挨拶	神戸市長	矢田 立郎	・ 2
	新年のご挨拶	神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課長	熊田 典彦	・ 3
	新年のご挨拶	神戸市都市計画総局住宅部長	遠藤 卓男	・ 4
〈特別企画〉東日本大震災の復興支援活動報告				
	り災証明発行のための家屋調査			・ 7
		神戸市都市計画総局建築安全課	武田 直樹	
	行政職員の立場から			・ 10
		仙台市都市整備局営繕課(神戸市都市計画総局建築課)	田中 幸夫	
	緊急消防援助隊神戸市隊の活動状況			・ 12
		神戸市消防局警防部警防課救助担当主幹	石田 秀欣	
	私の復興支援活動			・ 16
		(株)IDA	伊田 昌弘	
〈特別投稿〉神戸市危機管理センターの竣工と開設にあたって				
		神戸市危機管理監・理事	川野 理	・ 18
事業報告				
	定時総会・講習会・研修見学会			・ 22
	研修旅行に参加して			・ 25
		広報部	戎 眞弓	
	神戸市すまいの耐震キャンペーン報告			・ 28
		神戸市都市計画総局総務部 耐震化促進室 主査	岡本知佳子	
	・兵庫区報告			・ 30
		一級建築士事務所ブラーマ190	竹中 郁雄	
	・灘区報告			・ 31
		前田信行一級建築士事務所	前田 信行	
	・垂水区報告			・ 32
		阪本建築事務所	阪本 元秀	
	耐震改修工事オープンハウスをおえて			・ 33
		パウレ設計室	田中 邦男	
	建築科3年生の「耐震診断実習を終えて」			・ 34
		兵庫県立兵庫工業高等学校建築科長	油淺 保雄	
	第28回親睦ボウリング大会			・ 36
	同好会だより			・ 37
	(財)神戸市都市整備公社との意見交換会			・ 38
	平成23年度 建築士事務所キャンペーンをおえて			・ 40
		副支部長	岡田 徹	
	建築士事務所キャンペーンに参加して			・ 42
		エスケー化研(株)神戸営業所	藤谷 章	
	建築士事務所キャンペーンに参加して			・ 43
		菱電エレベーター施設(株)	岡本 季雅	
	賛助会だより 『シャッターのルーツ』			・ 44
		三和シャッター工業(株)	三原 芳之	
	新入会員紹介			・ 45
	組織図			・ 46
	受賞者紹介			・ 48
	作品紹介			・ 50
	ホームページ開設秘話			・ 55
		一級建築士事務所ブラーマ190	竹中 郁雄	
	ちょっとひと休み プロのジャズメンの「CDジャケット」制作 2度の体験			・ 60
		(株)アーキノヴァ設計工房 代表取締役	柏本 保	
	裏山ハイキングへのお誘い			・ 62
		前田信行一級建築士事務所	前田 信行	
	会員の広場 草屋根運動	一級建築士事務所YURI DESIGN	前田 由利	・ 64
	東日本大震災に思う	(株)東郷建築設計	東郷 正道	・ 67
	構造屋として東日本大震災に思う	(株)ジョインウッド	波多野隆之	・ 68
	自然界との共生…	I 建築設計事務所	五百旗頭洋一	・ 69
	工事監理に関する本	兵庫県設計監理協会会員	萩尾 利雄	・ 70
	協賛広告			・ 71
	編集後記			・ 75

本誌の掲載文は、執筆者が個人の責任において自由に書く建前をとっております。掲載文の文責は執筆者本人にあります。



新年を迎えて

神戸支部長 山本 康一郎

新年明けましておめでとうございます。

神戸支部会員並びに賛助会員の皆様には平素より支部活動に格別のご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、世界中で自然災害が次々と起こり、大きな被害をもたらした年でありました。我々神戸支部としても安全・安心な「街づくり」について昨年ほど考えさせられた年はなかったかと思えます。さる3月11日に三陸沖を震源とするM9.0の大地震が発生し、そして、未曾有の被害が生じたことはご承知の通りであります。18年前の阪神・淡路大震災の時に、全国から多くのご支援を頂いた者として、また、その後、大変厳しく苦しい中から神戸の街の復旧、復興にたずさわった者として、神戸支部は、義援金50万円をお送りすることを理事会で決定しました。そして、被災地域の一日も早い復旧復興が成し遂げられるようにと願い、支部総会時に神戸市都市計画総局の井澤元博局長様に趣意書と目録をお渡ししました。その後の被災地の復興計画策定に当たっては、多くの神戸市職員が派遣され活躍をされているとお聞きし、その活躍の一部かと思いますが本編アプローチの特別企画としてご紹介させていただきました。

21世紀にいくら科学が発達したとしても自然災害は防ぎようがないことかと思えます。しかし「想定外」という言葉は二度と聞きたくありません。

ん。また、設計に携わる者としても使ってはならない言葉と考えます。よって、神戸支部は、我々が住む神戸の更なる安全・安心な街づくりを目指して、神戸市行政とともに連携を取り合い、すまいの耐震化に最大限の努力をしております。そして、我々のこれまでの経験を被災地にも情報発信し、応援をしていくことが我々の責務でもあると認識しております。今年も引き続き積極的な活動をおこなっていきます。

私の神戸支部長職の任期もいよいよ本年4月の支部総会までとなり、2期4年間の総仕上げをしなければならぬ時期になりました。私が支部長を引き継いだ平成20年度は、構造計算書偽装問題の反省により、平成18年から19年にかけて、建築基準法及び建築士法が改正され順次施行されました。我々の業務がどのように変わるの不安な時でもありました。しかし、多くの法改正が行われましたが建築設計事務所の地位向上には必ずしも役立っているとは思われません。我々の業務が社会の発展に寄与しているのは紛れもない事実ではありますが、まだまだ社会の評価は低い状態です。普段から多くの市民や依頼者に対して地道な建築相談や苦情解決を行うことが、社会への貢献であり重要な支部の使命であります。そして、建築士事務所の役割を認知していただくためにも大小の建築士事務所キャンペーンを開催し、継続することが最も重要と考えます。関係者各位におかれましては今まで以上のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

神戸支部は平成21年度に創立50周年を祝い、新たな50年に向かってスタートをしております。神戸の建築士事務所は神戸支部に入会しないと肩身が狭いと言われるような支部に成長することが先人たち多くの願いであり、その実現に向かって行動することが我々現役の責任でもあることを心に刻み、一歩でも目標に近づくように神戸支部全会員で努力をしていきたいと思えます。

最後になりましたが、皆様にとりまして本年が良き一年になりますことを心よりご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市長 矢田 立郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より神戸市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

まずは、東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復旧・復興に向け、引き続き最大限の支援と協力を実施してまいりたいと考えております。

神戸は阪神・淡路大震災から17年を迎え、国内外からの本当に心温まる多くのご支援と市民の熱い思いでここまでの復興を遂げてまいりましたが、震災の教訓を忘れることなく、減災・防災という観点から「命と暮らしを守る取組」を着実に積み重ねていくことが重要です。

このたびの地震及び津波によっても多くの建築物が甚大な被害を受け、あらためてその安全性確保に向けた対策が求められています。市では、市民の生命と財産を守るため、引き続き住宅や公共施設の耐震化促進等に一層取り組んでまいります。

昨年2月には、温室効果ガスの削減目標や目標の達成のための具体策などを定めた「地球温暖化防止実行計画」を策定いたしました。建築分野においては、建築物や敷地に関する環境配慮の取組を推進するための新たな条例を検討しておりますが、低炭素社会の構築に向け、今後もさまざまな取組を進めてまいります。

また近年、商店街や工場の跡地に住宅が建設されるなど、これまでとは異なる土地の利用が見られることから、市では今年度から来年度にかけて「用途地域」及び「高度地区」の見直しを検討しております。住環境の保全や、住宅・店舗・工場などの混在防止、まちの活力向上などを図り、時代の変化に対応した、調和のとれたまちづくりを進めてまいります。

少子・超高齢化の急速な進行などさまざまな課題が山積する時代にあって、震災復興の中で輝きを増した人と人との絆を生かし、「ひと」を「たから」にして新しい豊かさをともに創造する“協創”の理念によるまちづくりを進めるための道標として、「第5次神戸市基本計画」を策定し、昨年4月から始動しております。この計画に基づき、皆さんと力を合わせて、これまで以上に魅力あふれる神戸を創っていきたいと考えております。

すまいの耐震化をはじめ、市民が安心して暮らせるまちづくりに大きくご貢献いただいている皆様方の活動に対して、あらためて敬意を表しますとともに、今後もその知恵と力を生かしていただくことを期待しております。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課長 熊田典彦

新年あけましておめでとうございます。

平素より神戸市の建築行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、いろいろな事件・事故が起こりましたが、とりわけ、3月11日に発生した東北大震災は、阪神・淡路大震災を経験した我々にとっても、予想を超える大災害となりました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願ってやみません。

阪神・淡路大震災から17年がたちますが、それ以降の建設業界・建築行政を取り巻く状況を振り返ってみますと、大きな変革は、やはり平成11年の「建築確認の民間開放」でしょうか。神戸市を業務範囲とする指定確認検査機関は、現在25社となり、神戸市建築主事が扱う確認申請は全体の2%弱という状況となっています。

平成12年には、神戸の「テレクラ放火殺人事件」、翌13年の「歌舞伎町」雑居ビルの火災、そして、「カラオケボックス」「個室ビデオ」と火災が相次ぎました。

平成17年には、「姉齒事件」が発覚し、その後、建材メーカー等の「偽装」も次々と明らかになりました。

また、平成18年には「シンドラ」エレベーターの死亡事故、そして、大事故には至っていな

いものの、その後、昇降機の不具合が数多く指摘されています。

こういった多くの事件・事故を受けて、建築基準法・消防法等も毎年のごとく、改正されており、それへの対応だけでも、大変な時間と労力を要するものとなっています。

一方、少子・高齢化社会の進展や地球温暖化或いは気候変動など、社会経済状況・自然環境の変化は、建築に携わる者にとって、注視していかなくてはならないものであるとともに、その変化に的確に対応していくことが求められてもいます。

現在、建築指導部ではこういった「変化」を踏まえ、建築の分野における環境配慮の取り組みや調和のとれたすまい・まちづくりとして、いろいろな取り組みをしておりますが、紙面をお借りして、2点紹介させていただきます。

ひとつは、一昨年より任意制度として実施しています「すまいの環境性能表示」について、一定規模以上の集合住宅について条例化により義務化する予定です。

ふたつめとして、建築基準法に基づく総合設計制度の許可取扱要領を見直します。これは、環境に配慮した建築物の誘導として、建築物総合環境評価制度(CASBEE)で一定以上の評価を条件とする他、公開空地の評価の見直しなどを行う予定です。

これらについては、昨年末から、順次、市民意見の募集を行っているところですが、実施にあたっては、皆様のご理解・ご協力が必須ですので、よろしく願いいたします。

本年も、変わらぬご理解とご協力をお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念いたします。



新年のご挨拶

神戸市都市計画総局住宅部長 遠藤卓男

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、日ごろより神戸市住宅行政の推進について何かと御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

神戸は山と海の自然に恵まれ、山の手、市街地、臨海部、ニュータウンなど住宅地として多様な選択肢があり、様々なライフスタイルに応えることができる都市です。また、おしゃれで洗練された都市のイメージもあり、「住みたい街」として全国的にも高い評価をいただいています。

一方で、少子超高齢化の急速な進展、空き家の増大、地球環境や低炭素社会への対応などを背景として、住まいや住まい方についても、より多様な視点からの対応が必要となっています。

このような状況をふまえ、神戸市では、昨年、今後10年間に取組む住宅政策の内容を「神戸市住生活基本計画」として策定しました。

当計画では、「住まいは市民の安心で豊かな生活にとって不可欠な基盤である」との基本的認識のもとに、「安全な住まいを実現する」「居住の安定を確保する」「環境にやさしい住まいを実現する」「ニーズにあった住まいを選べる仕組みを創り出す」「人と人とのつながりを大切にした住まいづくりを支援する」などに取組むこととしています。

こうした取組みを推進するには、市民、地域団体、事業者、専門家などの多様な主体が、それぞれの役割を認識し、連携していくことが重要です。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様が、住まいの耐震化促進や“すまいるネット”（神戸市すまいるの安心支援センター）の運営支援をはじめ、本市住宅政策の重要な部分で活躍していただいておりますことに深く敬意を表します。

神戸市民の安心で豊かな住生活の実現のために、引き続き御尽力くださるようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の御発展と御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

〈特別企画〉

東日本大震災の復興支援活動報告





り災証明発行のための家屋調査

神戸市都市計画総局建築安全課 武田直樹

新年あけましておめでと
うございます。

昨年6月13日(月)から20日(月)までの8日間、り災証明発行のための家屋調査業務のために仙台市宮城野区へ派遣されました。薄くなっていく記憶をたどりながらご報告したいと思います。

【宮城野区の概要】

派遣先の仙台市宮城野区は仙台市の東部に位置し、人口約19万人(仙台市の約18%)で仙台港、プロ野球の東北楽天イーグルスの本拠地である「クリネックススタジアム」や菅原道真を祀る榴岡天満宮などのある「国際都市の機能と古(いにしえ)からの自然が調和する魅力あふれるまち」です。

【家屋調査業務】

家屋調査の業務は、区役所の最上階にある中規模のホール(天井が落下したためか天井が外された、空調無し)の空間に本部を置き、メンバーは、



家屋調査の本部：天井が落ちたため、一部照明や空調設備が無い状態でした。

区の職員数名と応援職員として、横浜市11名、京都市8名、税務署7名、国税局5名、仙台市9名、そして神戸市3名(事務職員2名と技術職員の私)でした。横浜市は人だけでなく、車も6台出されていました。



調査途中の写真：廃車の山が海の近くの至る所にありました。

業務は、1次判定を5班体制で1班20件/日、2次判定は6~8班体制で6件/日です。私が担当した2次判定は、2人もしくは3人1組で調査・判定し、判定が終わり次第その結果をその場で依頼主に報告します。午前・午後それぞれ3件を調査・判定し、帰庁後、写真データをパソコンに取り込み、その後の整理は内勤作業班が担当しました。判定は、損傷程度の最高値を、屋根：10%、外壁：10%、基礎7%(津波被害は40%)、天井：5%、内壁：15%、床：10%、柱：20%、建具：10%、設備関係：10%として判定します。各部位で出された割合の合計が20%未満であれば、「一部損壊」、20%以上39%以下で「半壊」、40%以上49%以下で「大規模半壊」、50%以上で「全壊」の判定になります。

私が判定した建物の大半は外観で判定する1次の結果よりも悪くなるものがほとんどで、近年の住宅の建て方では外観調査に限界があるのではないかと思います。また、震災から3ヶ月経っていたので、2次調査に行くと、屋根や外壁等の補修が済んでいる家がほとんどで、補修前の写真等での確認作業による判定が非常に多かったです。しかし中には、全壊の家を放置し、庭にある小さ

な物置小屋で生活される一人暮らしの高齢の方もいらっしゃいました。

他には、農地を造成した上に建つまだ新しい賃貸アパートの一部が住めない状態になりその借主からの判定依頼に対応をしていたので、本来の一棟一判定の原則に反するものだったので今後、混乱を極めるのではないかと思いました。(当然、本部には言いましたが。)

判定のための調査票は事前に本部が依頼主に送っていたので、依頼主が独自に判定し「私の判定はもっと悪く出ている。」など言われ、説明に時間がかかったこともあり。また、本部からは、調査だけで帰らずに依頼主からの調査とは関係の無い話もよく聴くよう言われていたもので、長いときには調査とは別に2時間くらい地震から今までの話など色々と聴いたこともあり。また、

【津波被害のあった地区など】



ガレキが散乱していました。(家の浴室が倒れています。)

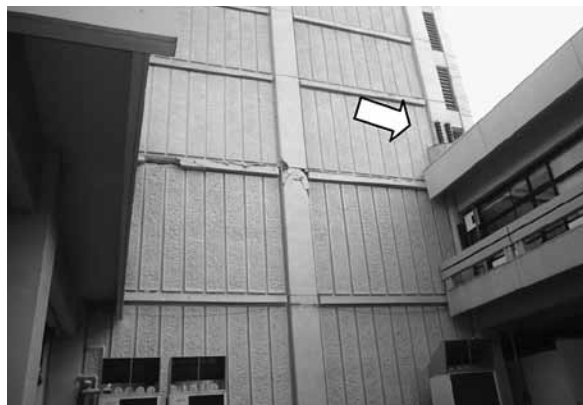
業務時間外には調査地区以外を走って回り、津波による被害のあった^{がもう}蒲生地区に行きました。道路の復旧は進んでいましたが、宅地や農地には未だに流された車や家屋の瓦礫がそのまま残っていたり、下水の勾配が取れなくなったためか、道路を含め至る所で水溜りが出来、異臭が漂うひどい状態でした。改めて被災規模の甚大さを痛感しました。

また、東北大学の建築系研究室が入る「人間・

環境系研究棟」の3階妻壁側柱の4箇所全てが座屈し側柱の鉄骨と鉄筋が圧壊し割れたコンクリートから露出した状況を確認に行きました。

【阪神・淡路大震災との違い】

業務における阪神・淡路大震災との違いについて気づいたことは、①業務車にナビがついており、派遣職員だけで現場に向かうことが出来たので非常に効率的であったこと、②デジカメがあるので、整理が素早くできる、③携帯電話が普及しているので、現場から本部や家主に連絡をすることが出来たこと、でした。



東北大学 人間・環境系研究棟
妻側側壁柱座屈箇所(補修中)

【おわりに】

昨今、自然災害は増える一方ですが、阪神・淡路大震災の際にお世話になったことへのご恩返しはいつまでも続け、被災地の復興に少しでも役立てればと考えています。



仙台城も壁が落ちていました。

【参考写真】



蒲生地区：がれき・車等が散乱



蒲生地区：バス営業所？



蒲生地区：住宅の基礎



蒲生地区：便器など散乱



蒲生地区：晴れが続いていましたが道路に水溜り



石巻市：6月中旬でも川の土手に船が乗り上げていました。



行政職員の立場から

仙台市都市整備局営繕課
(神戸市都市計画総局建築課) 田中 幸夫

新年あけましておめでと
うございます。

まだ記憶に新しいと思いますが、昨年3月11日の東日本大震災で東北地方は壊滅的な被害を受けました。17年前の阪神淡路大震災を経験し、復興を支えてこられた事務所協会の皆様ならば特に今回の震災とその復興に関心が高いと思いき、被災地での復興支援活動報告をさせていただくことになりました。

私は大震災により被災した仙台市の市有建築物の復旧工事の支援のため、7月より今年3月末までの9か月間、神戸市役所から仙台市役所に派遣されています。神戸市では阪神淡路大震災時に全国政令指定都市から建築職の派遣を受け(仙台市からも2年間で3名)、神戸の復興に大変お世話になりました。今回は、その時の恩返しの気持ちを持って仙台市の復興をお手伝いしています。

【派遣先での業務内容】

私が派遣された仙台市都市整備局営繕課は、市営住宅を含めた市有建築物の新增改築・改修にかかる設計監理業務を主としておこなっている部署です。



学校工事での監理業務

その中で私は被災した小中学校、消防関係庁舎、市指定文化財の復旧工事の設計監理業務や、PFI事業で整備した施設の復旧工事に対する技術

支援などを担当しています。

通常業務に加え被災した市有建築物の復旧工事、市営住宅の供給など震災関連の業務が増えたことで、営繕課職員は毎日大変忙しい状況が続いています。

大震災以降、津波による被害が大きく報道され、仙台市では沿岸部を除き、地震による被害が少ない印象を皆様受けられていると思いますが、200を超える施設で営繕課が改築工事や改修工事を担当することになっています。

現在工事中の施設は、そのほとんどが居ながら改修であり、施設側との日程調整が必要なこと(例えば学校では放課後と土



学校工事の状況

日が作業の中心になる)、設計事務所や建設業者の人手不足等で想定以上に工期がかかっています。営繕課では年度前半より集客施設や被害が比較的軽微な施設の復旧工事に着手していますが、加えて年度後半からは大きく被害を受けた施設の復旧工事の設計業務が始まっています。来年度当初の工事発注に向け、忙しい毎日を過ごしています。

【市有建築物の被害状況】

仙台市内では、3月11日の本震(Mw9.0)で最大震度6強、4月7日の最大余震(Mj7.1)でも最大震度6強の強い揺れ、また本震により最大7.2mの津波に襲われました。(被害額・約310億円/市有建築物関係)仙台市内では704名の方がなくなりましたが、そのほとんどが津波を原因としたものでした。津波では仙台市内で約52km²の面積が浸水被害を受けています^{*1}。また地震動の特徴

として、以下のことが報告されています^{※2}。

- 継続時間が長い(約170秒・兵庫県南部地震では約20秒)。
- 仙台市内で観測された地震動の応答スペクトルは0.5秒～1.0秒あたりにピークがある。
- 4月7日の余震における仙台市内の応答スペクトルは本震とほぼ同じレベルであった。

市有建築物でも津波に襲われた地域では壊滅的な被害を受けましたが、本震と余震の地震動による被害も受けています。今回の地震による市有建築物の被害の特徴は代表的には以下の4つが挙げられます。

- ① 盛土部分の地すべりによる被害が多数生じた。
- ② 地盤被害を除き構造躯体の被害は小さかった。
- ③ 二次部材(天井、外壁タイル、建築設備など)の被害が多数生じた。
- ④ 東部沿岸地域では津波により使用不可となった施設あり。

【耐震改修のすすめ】

仙台および東北太平洋地方は従来から地震多発地域で、皆様もご存じのとおり1978年の宮城県沖地震(Mj7.4)により多大な被害を受けたことから、それ以降順次地震対策工事を進めてきました。

- 市有建築物耐震化(H11～)
 - 構造的な被害は一部に留まり、建築物の倒壊等による犠牲者が出なかった。
- 外壁タイル落下防止(H18～)
 - 一部で外壁タイルの落下があったが、大きな被害はなかった。
- 大規模空間施設天井補強工事(H17～)
 - 補強工事を実施した天井材は落下しなかった。
- 窓ガラス飛散落下防止対策(H21～)
 - 窓ガラスの割れやひび等の被害はあったが人的被害はなかった。

今回の大震災で、上記対策工事の未実施施設等で多数の被害が生じましたが、人的被害がほとんどなかったことは不幸中の幸いでした。津波被害

と地盤被害を除くと上記の対策事業は確実に効果があったといえます。例えば市役所本庁舎においても平成18年度よりの耐震補強工事(制震ブレース、炭素繊維補強等)の効果により被害は極めて限定的であり、地震直後に避難場所として機能するとともに、庁舎機能を継続的に維持することができました。



市役所の耐震補強工事

今後は二次部材、津波対策や地盤対策等の被害調査・分析及び対策について、国・県や関係者、建築技術者等と連携しながら、全国に発信していく責任があると考えています。

【さいごに】

学校、市営住宅などの公共建築物が一日も早く復旧し、仙台市民のみなさんが安全・安心な生活を送られるよう、3月末までの短い期間ですが、出来る限りの努力をしていきたいと思っています。

事務所協会の皆様におかれましても、ぜひ仙台・東北にお仕事や観光などでお越しください。皆様が来てくださることが仙台・東北への何よりの支援となります。

最後になりましたが、本年も貴支部のますますのご発展と、皆様のご多幸を祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。

【参考文献】

- ※1) 国土地理院：津波浸水範囲の土地利用別面積について
- ※2) 国土技術政策総合研究所、建築研究所：平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)調査研究(速報)

緊急消防援助隊神戸市隊の活動状況

神戸市消防局警防部警防課救助担当主幹 石田 秀 欣

1 はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、死者15,829名、負傷者3,686名におよび、まだ6千名弱の行方不明の方（平成23年11月1日現在、内閣府発表）もいるという過去に例を見ない大規模で広域的な災害となりました。

今回、東日本大震災に出動した神戸市消防局（以下、当局という）の緊急消防援助隊について紹介します。

2 消防の責務と応援体制

消防は、各市町単位で火災、救急、救助などに対応する責務があります。

しかし、大規模な災害が発生した場合、管轄の消防本部だけで対応できないときには、事前の協定により隣接の市町や県内の消防本部が相互に応援できることになっています。

緊急消防援助隊もこの制度と同様に、被災地の県知事から国（総務省消防庁）を通じて応援要請がされた場合に被害の無い都道府県の消防本部から車両、人員を出し都県道府県隊として被災地に出動するものです。

この緊急消防援助隊の制度は、阪神・淡路大震災時に全国の各消防本部から被災地へ応援に駆けつけたことから平成7年に制度化され、平成16年

には消防組織法の改正により、この法律に基づいた応援制度となりました。この制度では、予め消防本部ごとに部隊を登録しており、神戸市消防局では現在、51隊、168人の部隊を登録しています。

3 応援活動の基本方針

17年前の阪神・淡路大震災では、神戸市に全国480の消防本部から合計6,254隊の消防・救助・救急隊等が応援に駆けつけていただき、そのおかげで、大規模な延焼火災や同時多発の救助事案、救急事案を終息させることができました。

神戸市消防局では、今回の東日本大震災への応援は、「被災地復興支援は我々の使命」と大方針を定め、この災害を国家レベルの緊急事態としてとらえるとともに、被災地への災害活動復興支援に関しては、消防局の部隊、人員、資器材等を活用し全力で支援を行い、また、派遣された各職員は、阪神・淡路大震災時の感謝の気持ちを込めて応援に行ってきました。

4 現地の被害状況

現地の被害状況は、津波により流木や自動車、船舶などが押し流され、あたり一面が瓦礫の山という状況です。木造建物は、ほとんど跡形も無く消失し、基礎のコンクリート部分しか残っていません。鉄骨も鉛のように曲がっていましたが、鉄筋コンクリートの建物は原型を留めているものも残っていました。

また、地盤面の低い場所には、海水が溜まっており、今回の津波の凄まじさを感じさせられました。

しかし、津波の被害を受けていないところは、壁体の損傷や瓦のずれがあるものの、大きな被害を受けていないように見受けられました。

阪神・淡路大震災では、建物の倒壊により逃げ

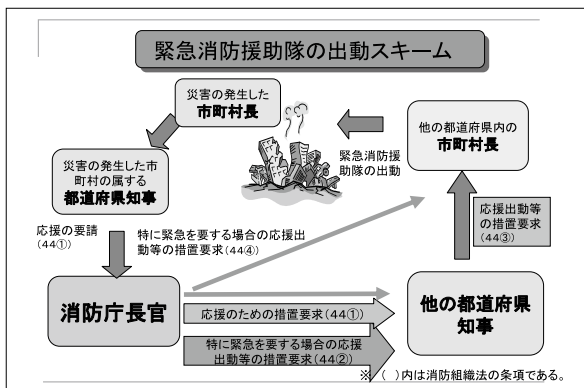


図1 緊急消防援助隊の出動スキーム

遅れた方は、建物内に残されている可能性が高く場所の特定は出来やすかったのですが、今回は津波により建物が流されていることから、逃げ遅れた方の場所を特定するには極めて困難な状況でした。

5 緊急消防援助隊派遣神戸市隊の活動

(1) 派遣状況

消防局では、平成23年3月11日14時46分の地震の発生後、15時40分に消防局内に作戦室を立ち上げ、神戸市沿岸部の津波警戒にあたりとともに、テレビ等から被害の情報収集を行い、緊急消防援助隊の出動に向けた準備を始めました。

20時57分に総務省消防庁から兵庫県に対し出動が指示されたため、神戸市隊15隊66名は、兵庫県隊（64隊251名）とともに被災地に向けて出発しました。

その後、陸上部隊としては4月24日まで45日間、12回の派遣を行い、宮城県石巻市、南三陸町、亶理郡山元町を中心に現地で捜索救助、救急、消火活動を行いました。

(2) 陸上部隊

今回の派遣先は、神戸市から約800km離れた東北地方であり、隊員の疲労軽減を図るため、交代要員は大型バスで派遣していますが、片道に約20時間を要し、翌朝到着後、部隊の交替を行って現地で概ね4日間の活動を行い帰神していたため、1回の派遣が7日間と長くなっています。

緊急消防援助隊は、被災地で自己完結での活動を行うことを原則としており、当初はテントで野営を行っています。東北地方の3月は、まだ寒さも厳しく、時には積雪の中での野営となりましたが、4月以降は、地元の協力を得て中学校や隣接市の体育館での宿泊となり、生活環境も改善し、身体的にも楽になりました。

派遣された活動隊員は、津波警報や注意報が発令されている中、膝まで水に浸かり人海戦術



写真1 被災地の状況 (南三陸町)



写真2 被災地の状況 (南三陸町)



写真3 基礎だけになった建物 (南三陸町)



図2 兵庫県隊の活動場所図

で懸命に捜索を行うとともに、阪神淡路大震災では、避難所等での急病が多数発生したことから避難所にも救急隊を配置し、救護活動を行っています。

東北での活動隊のほか、現地で活動する隊員の食糧、燃料の物資の調達と供給のために、新潟市に3月15日から4月6日まで職員を派遣、レンタカーにより物資の搬送を行っています。



写真4 野営地での食事準備（石巻市）

(3) 航空部隊

兵庫県、神戸市で共同運航を行っている消防防災ヘリコプターは、3月14日から5月14日（途中一時中断あり）までの56日間、9回の派遣を行い、岩手県いわて花巻空港を拠点に救急搬送、消火、物資搬送などを行っています。



写真5 積雪の野営地（石巻市）

(4) 東京電力福島第一原子力発電所への派遣

今回の地震で福島県の東京電力福島第一原子力発電所も甚大な被害を受け、この事案には、当初東京消防庁のハイパーレスキュー隊が出動し核燃料棒の冷却放水活動を行いました。

神戸市にも3月22日に総務大臣から市長へ出動要請があり、派遣隊員を決定し、必要な研修や訓練、資器材の準備等を行い、29日に東遊園地で市長、市会議長の出席のもと出発式を行い、8隊53名が現地に向け出発しました。

30日の午後に福島県いわき市に到着、発電所内での放水活動は無かったものの、4月1日までの3日間、現地にて警戒活動を行ってきました。



写真6 捜索状況（南三陸町）

6 大型水槽車の寄贈

今回、消防局が一番長く活動した宮城県亶理郡山元町を管轄する亶理地区行政事務組合消防本部（以下、亶理地区消防本部という）は、消火栓の復旧も進まず、消防車両も被害を受けていたことから、消防局では、緊急消防援助隊で使用していた大型水槽車（水量10t）を4月21日に亶理地区消防本部に寄贈しました。



写真7 原発対応訓練（いわき市）

緊急消防援助隊神戸市隊の派遣総数：140隊、153台、642人（兵庫県隊：548隊、610台、9機、2,023人）

●兵庫県隊の活動状況（表1） ※（ ）内は、避難所対応件数（3月13日～4月22日）

活動場所	行方不明発見	火災	救急出動件数	搬送人員
石巻市内	2名		3件（0件）	2名（0名）
南三陸町内	17名		37件（21件）	37名（20名）
塩竈地区内			45件（3件）	45名（3名）
山元町内	2名	5件	129件（33件）	116名（31名）
合計	21名	5件	214件（57件）	200名（54名）

●兵庫県消防防災航空隊の活動（表2）

任務	捜索・調査	救急搬送	物資搬送	林野火災	その他	合計
件数	7件	25件	3件	2件	5件	42件

7 総括

今回の派遣では、現地の環境が厳しい中、ほとんどの職員が阪神淡路大震災時に応援を受けたお礼と感謝の気持ちを持ち、できる限りの応援活動を行ってきました。



写真8 大型水槽車の寄贈（山元町）

今回、消防局の職員の3分の1程度が被災地に派遣され、阪神・淡路大震災と違う被災地の状況を目にして、活動を行ってきました。そして、その半数は、阪神・淡路大震災を経験していない職員であったことは、彼らにも貴重な経験になったと思います。

東日本大震災では、地震発生後、高い所へ避難をされた方が多く生存されています。

今回、派遣した職員が、地域の皆さんに津波の恐ろしさや、早期の避難の重要性など地域の訓練で話をしてくれることと思います。

本誌を読んでいただいている皆さんで、津波の被害が想定される地域や海岸に近いところに居住されている方は、長い周期の揺れの地震が発生した場合は、近所の方と声を掛け合ってすぐに地盤の高いところに避難をするように心がけてください。

また、家族とは、どこに避難するか、非常時の連絡はどのようにするのかを今一度話し合っていたいただきたいと思います。

そして、事業所の皆さんには、地域の避難の協力や緊急の場合の待避所として鉄筋コンクリートの建物の使用など、減災に向けた取り組みにご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今回の災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、いち早く被災地が復興されますことを願います。

がんばれ 日本！ がんばれ 東北！

私の復興支援活動

㈱IDA 伊田昌弘



3月25日、早朝7時40分、福島空港に向けて伊丹を飛び立ちました。

福島空港でバスに乗り込み郡山を目指し、さらにそこでバスを乗り換え、やっとの思いで、仙台にたどり着いたのは、午後になっていました。道中バスの車内から見える風景は、屋根のノシ瓦が落ちている家を見る位いで、また、仙台市内を歩いても、まれにカーテンウォールのガラスが割れているのを見つける程度で、神戸で被災経験のあ

る私にとって、たいしたことは無いなと思ったのが実感でした。

避難所から要望のあった子供用下着や駄菓子を積んだ、同業仲間のトラックと仙台駅前で合流し、その後、仙台青葉区荒浜を訪れました。海岸方向に進むためには、仙台を南北に走る仙台東部道路をくぐって行くのですが、そこには警察官が立ち並び、関所になっていました。調査の為に来たのだと弁明し、建築士であることが証明出来た





ので、なんとか、そこを通過出来ました。

その東部道路をくぐった瞬間、そこは別世界でした。言葉が出ませんでした。友人は携帯電話で話し中だったのですが、思わず力を失い、携帯電話を泥水に落としてしまった程でした。

なにも無いところ、そして、瓦礫と化した家や家財道具が一箇所に積み上がったところ、また、いたるところに自動車突き刺さった光景は、神戸の地震とはまったく別のものでした。自衛隊や消防士の人たちが、瓦礫をよけながら懸命に捜索活動をされていました。

次に、4月17日夜、今度はジャージ、サンダル、プラスチック食器等を積んだトラックで、東京から出発し、宮城県女川町の勤労青少年センターに支援物資を届けに行きました。

その翌日、岩手県一関にある重要文化財世嬉一酒造の調査に訪れました。そこで東北大学准教授や学生さん達と合流し、危険箇所の判別や漏水の対処方法を検討し、

翌週、山形より職人さん達を集め、応急処置を施しました。

4月下旬宮城県で、仮設住宅建設の公募があり、我々有志の会社3社でJVを組んで、300戸分の設計図書と見積書を提出しました。そして、全国で75社が選ばれ、我社もその中に残ることが出来ました。準備をして、各市町村から連絡を待つように指示されました。が、いまだに連絡はありません。この仮設住宅発注に関して、地元で社会問題になっていますが、後味が悪い状態です。

6月に、かねてから交流のあった歌手のアンリさんに、友人が連絡したところ、石巻に慰問に行きたいと申し出があり、ひよんな事から、我々の企画運営のアンリ チャリティーコンサートが、7月14日仙台、15日石巻の地で実現しました。アンリさんの歌声が会場に流れ出すと、被災地の皆さんの表情が一変して、やわらいで行きました。まさに、歌の力を目の当たりにした瞬間でした。

現在は、阪神淡路大震災の経験を踏まえ、培ってきた修練の成果を発揮すべく、仙台と石巻に営業所を開設し、住宅設計と工事を行っております。



特別
投稿

神戸市危機管理センターの竣工と開設にあたって

神戸市危機管理監・理事 川野 理



神戸市では「神戸2010 ビジョン」の中の重点テーマ「あらゆる危機に対応できるまちづくりの推進」、また神戸づくりを戦略的に進めて行く実行計画としての役割を担う「神戸2015 ビジョン」に掲げる「いのちをまもる」に基づき、危機管理体制の充実・強化に努めており、「減災」をキーワードに、風水害や将来に予想される東南海・南海地震などへの対応を始めとする、安全都市推進のための施策に取り組んでいます。

「減災」のための取り組みには、防災福祉コミュニティを始めとする、地域力の強化があります。

これは震災により市民に芽生えた、「自助」「共助」の精神に根ざした「しくみ」で、神戸市の「減災」の根幹をなすものです。

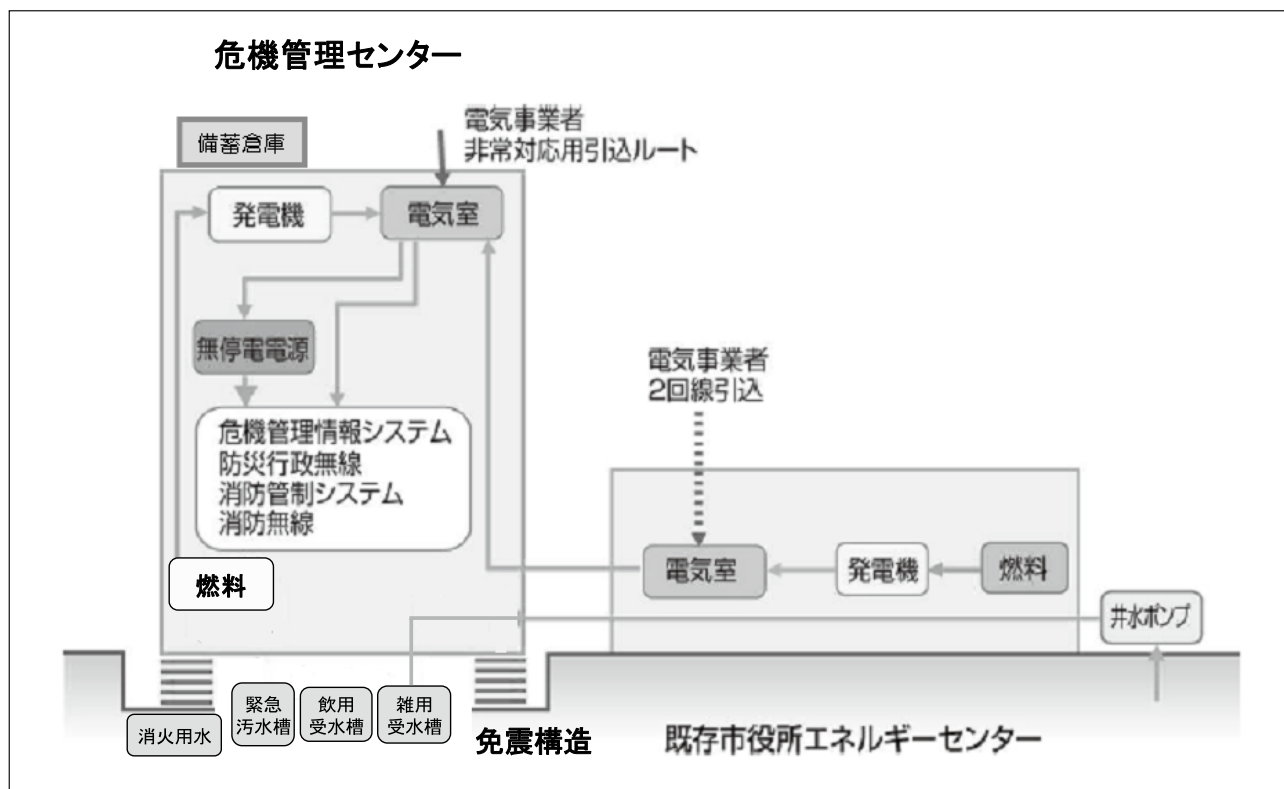
一方で行政の「しくみ」としても、危機管理室の設置など、震災を教訓とした特色ある体制づくりや、施策を推し進めてきたところです。

こうした「しくみ」をより有効に機能させるため、市が一体的な危機対応を行う中枢拠点とし

て、風水害や震災を含めたあらゆる危機に対応できるように、今まで以上の機能が求められていることから、平成23年度に新たに「神戸市危機管理センター」を整備いたしました。

この神戸市危機管理センター建設にあたっては、平成20年度に市民に広く意見を頂き「神戸市危機管理センター基本計画」を策定し、整備を進めることとし、基本計画には、市民の安全・安心を守るため、「初動体制の強化」「危機情報の共有体制の強化」「地域防災力の強化」の3つを運営の



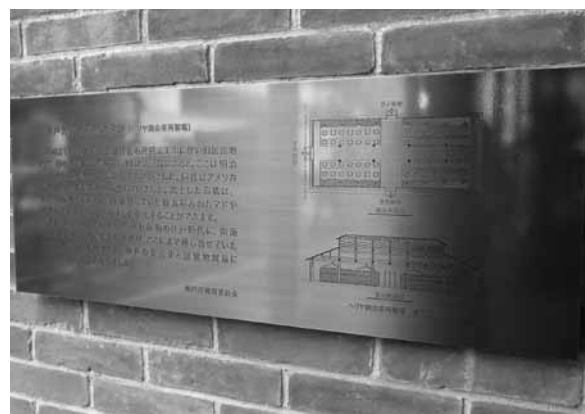


基本方針とし、本部員会議室、オペレーションセンター、消防局管制室、消防作戦室など危機管理部門を集約するとともに、単に建物の建設のみならず、「危機管理情報システム」「消防新管制システム」「デジタル防災行政無線」及び「消防救急デジタル無線」といった、危機管理能力向上のための様々なツールと一体で整備を行うことにより、情報の「集約拠点」としての機能をも保持した施設としています。

危機管理センターの設計にあたっては、危機管理対応の運用面へも配慮し、危機管理室と時間外の突発事象に対して災害対策本部設置の応急対応

を行うなど、連携が強い消防局を隣接して配置し、また旧の災害対応スペースに比べ2階のオペレーションセンターは約2倍のスペースを確保するなど、1階の本部員会議室とともに関係機関が一同に会し、一段と緊密な連携がとれるように空間設計を行い、災害に強い危機管理の「拠点づくり」を行っています。

また、バリアフリー動線の確保、「こうべ・だれでもトイレ」の設置や分かりやすい案内サインの掲示を行うとともに、太陽電池パネル、LED照明の導入、屋上緑化等といった環境に配慮した建築を目指し、省エネルギー技術・省資源技術を積極



的に導入した、人と環境にやさしい「庁舎づくり」を実現しています。

更に、建設地は、景観形成地域に指定されている旧居留地に位置しており、その歴史的環境に配慮しながら、神戸の都心業務地にふさわしい先進性と風格を兼ね備えた外観とするため、往来に面して広場空間（公開空地）を設け、建設に先立ち発掘された旧外国人居留地内の茶の再生場の遺構の煉瓦を活用したモニュメント壁の設置や1階を総ガラス張りとし建物内外の一体感をもたせるとともに上部のガラスウォールには旧居留地の通り名称・筋名称等の街区をデフォルメしたグラフィックデザインを施すとともに、照明設備を備えることで夜間景観形成へも配慮し街の“にぎわい”創出を図っています。

阪神・淡路大震災から16年以上が経過し、震災を知らない市民が4割近くに達している中、市民の間での震災の記憶を新たにするとともに、震災の経験・教訓を市内外に発信し、次世代にも引き継いでいく必要があります。



そのため、危機管理センター1階には、防災に関する普及・啓発の場としての市民・事業者への開放スペースを設けております。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓として、また今後発生が予想される東南海・南海地震への備えとして、人と人とのつながり・きずなの重要性が認識され、平常時から自主防災活動等において市民、地元企業、大学等の様々な主体が広く連携する必要性が益々重要となってき



ています。

神戸市としては「危機管理センター」を拠点とし、危機対応力を強化するとともに、併せて災害時に大きな力を発揮する地域の危機対応力を強化するため、社団法人兵庫県建築士事務所協会をはじめとする事業者、また市民一人ひとりが防災意識の向上に努めていただくとともに、消防団や防災福祉コミュニティといった様々な防災の担い手が共に連携することで安全で安心なまち「こうべ」を協働により創ってゆきたいと考えております。



■神戸市危機管理センター建築概要

建設地：兵庫県神戸市中央区江戸町97-1他

地域地区：商業地域(建蔽率80%/容積率700%)、高度地区指定なし、防火地域、中央駐車場整備地区、地区計画(旧居留地地区)、旧居留地都市景観形成地域

前面道路幅員：東側(東町筋)16.0m 西側(江戸町筋)11.5m

計画地面積：約1,350㎡

延べ面積：約9,190㎡

建築面積：約1,130㎡

駐車台数：20台

階数：地上9階、地下1階、塔屋1階

SGL：SGL±0=T.P+3.10m

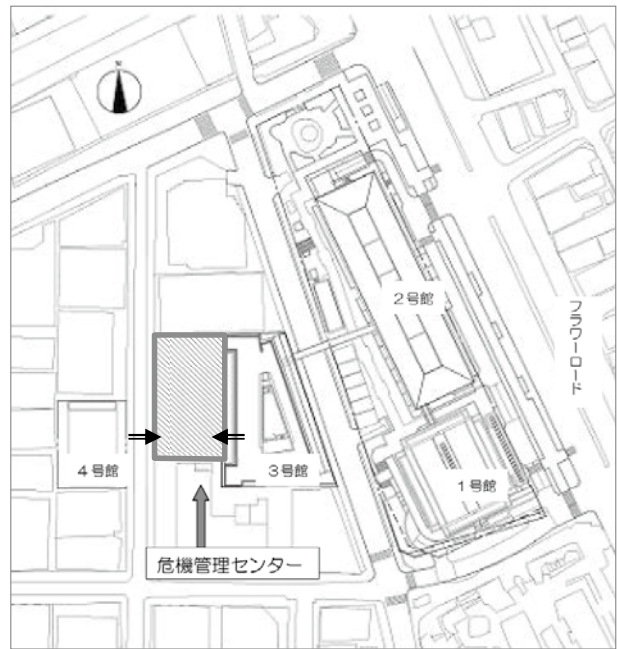
1階床高：SGL+0.340m(T.P+3.440m)

軒高：SGL+42.230m(T.P+45.330m)

最高高さ：SGL+45.940m(T.P+49.040m)

基準階高：4.80m(1~4F)、4.10m(5~8F)

構造：鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造(中間免震構造)



■施設構成

P1階：EV機械室、屋外機置場

9階：電気室、発電機室、備蓄倉庫等

8階：水道局

7階：水道局

6階：水道局

5階：消防局

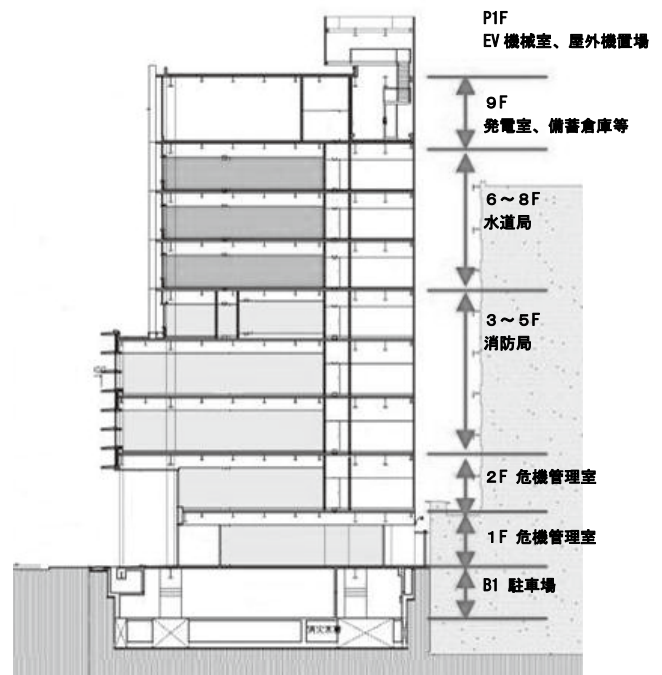
4階：消防局(管制室、作戦室)

3階：消防局

2階：危機管理室(オペレーションセンター、無線操作室)

1階：本部員会議室、防災展示・研修室(プレスコーナー)

B1階：駐車場



■整備スケジュール

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
基本設計	実施設計		危機管理センター建築工事		供用開始
		文化財調査	システム開発・工事		
	既存庁舎改修	庁舎解体工事		既存庁舎改修	

事業経過報告

1. 平成23年新年互礼会



日 時：平成23年1月6日
場 所：西村屋 和味旬彩
参加者：正会員35名・賛助会員17名・来賓5名

2. 「いい家を考える」第1回勉強会

日 時：平成23年1月22日
場 所：「すまいるネット」5Fセミナールーム
参加者：19名（内 正会員2名）

3. 第2回法規講習会

（兵庫県建築士会神戸支部合同）

日 時：平成23年1月26日
参加者：26名



4. 第28回親睦ボウリング大会

日 時：平成23年2月5日
場 所：ラウンドワン三宮駅前店
内 容：会員並びに賛助会員との親睦
参加者：45名

5. 平成22年度 第2回役員総会

日 時：平成23年4月8日
総 会 17：30～18：45
懇親会 18：45～20：30
場 所：ホテルモントレ神戸
出 席：正会員 総会36名、懇親会32名
賛助会員 総会10名 懇親会9名

6. 『マンション電気幹線改修の必要性とエレベーターのリニューアルに関する』セミナー

日 時：平成23年4月12日
場 所：「すまいるネット」5Fセミナールーム
内 容：「マンション電気幹線改修の必要性
と調査事例について」
「エレベーターのリニューアルについて」



講 師：関西電力株式会社
グループ経営推進本部 三好敏夫様
関西電力株式会社 神戸営業所
玉田義樹様
株式会社きんでん 電力本部電力・
社会システム営業部 松原敏修様
三菱電機ビルテクノサービス株式会社
兵庫支店 モダンゼーション課
柳原正明様、同営業課 西村渉様
菱電エレベータ施設株式会社 神戸営業所
野村幸治様、岡本季雅様

参加者：28名

7. 第52回定時総会

日 時：平成23年4月28日
総 会 14：30～16：00

講演会 16:10~17:00
 懇親会 17:15~19:15
 場 所：神戸旧居留地オリエンタルホテル
 出 席：正会員 総会40名、懇親会36名
 賛助会員 懇親会13名
 来賓 懇親会11名
 内 容：「神戸のまちづくり・すまいづくり」
 講 師：神戸市都市計画総局 局長
 井澤元博様



8. 神戸市立医療センター新中央病院見学会

日 時：平成23年6月7日
 場 所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1
 講 師：地方独立行政法人神戸市民病院機構
 法人本部 新中央市民病院整備室
 リーダー 山根正利様
 参加者：34名



9. 灘区住宅無料相談会

日 時：平成23年7月31日

場 所：水道筋商店街（灘区）
 参加者：6名

10. 建築士事務所キャンペーン

日 時：平成23年10月2日
 場 所：新長田若松公園（長田区）
 参加者：40名



11. 山陰一泊研修旅行

日 時：平成23年10月16・17日
 場 所：吹屋ふるさと村・足立美術館
 参加者：25名

12. 『給排水設備診断から改修工事までの流れ、及び改修工事の工法について』



日 時：平成23年11月22日
 場 所：「すまいるネット」5Fセミナールーム
 内 容：「給排水設備診断から改修工事までの流れ」
 「改修工事の工法について」
 講 師：日本水理株式会社 営業本部
 第2ブロック ブロック長 金間 肇様
 参加者：21名

東日本大震災復興支援

神戸支部長 山本 康一郎

拝啓 新緑の候 会員各位におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る4月28日(金)に、神戸旧居留地オリエンタルホテルにて平成23年度神戸支部定時総会を開催し、滞りなく無事に終了することができました。有難うございました。

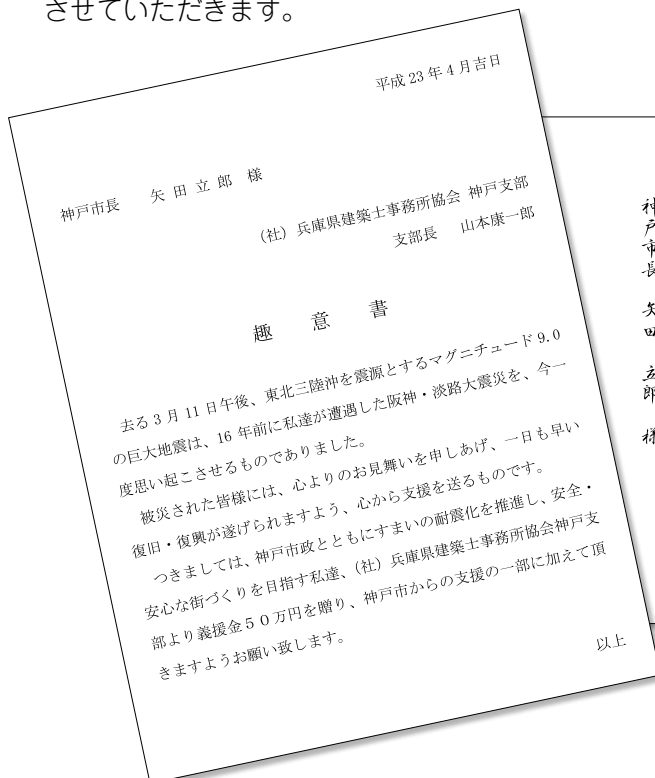
お陰様で、すべての議案を承認して頂き、理事役員一同が、新たな気持ちで平成23年度の各活動に取り組み、神戸支部の発展、並びに各支部事業が会員に役立つようにと考えております。

この度の東日本大震災における未曾有の大被害についても、4月の電子理事会にて義援金50万円を神戸市を通じ、被災地に贈ることを承認して頂きました。

そして、総会終了後の懇親会のなかで「趣意書と目録」を井澤神戸市都市計画総局長様にお渡しすることができました。

今後も、被災地の一日も早い復旧・復興に微力ながらご支援するのが、阪神・淡路大震災を経験した神戸支部の責務と認識しておりますので、出来る限りの協力をしていきたいと考えています。

最後になりましたが、今後も支部運営に対しまして、格別のご理解とご協力をお願い申し上げ、総会の報告とさせていただきます。



神戸市長 矢田 立郎 様

(社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
支部長 山本 康一郎

平成二十三年四月二十八日

神戸市を通じ、東日本大震災・被災地の復興支援に
役立ていただくためにお贈りいたします

一、金 五拾萬円

目録

社団法人 兵庫県建築士事務所協会神戸支部 研修旅行に参加して

広報部 戎 眞 弓



- ◆日時 平成23年10月16日(日)～17日(月)
- ◆目的地 山陰/吹屋ふるさと村・足立美術館
- ◆行程 10月16日回 神戸駅前(阪神高速・山陽道・中国道) ⇒ 吹屋ふるさと村研修〔吹屋の街並み散策〕
⇒ ベンガラ館/広兼邸 ⇒ 玉造温泉(宿泊)
- 10月17日回 松江城 ⇒ 武家屋敷 ⇒ 明々庵 ⇒ 松江堀川めぐり ⇒ 足立美術館研修 ⇒ 神戸駅前
- ◆宿泊 ホテル玉泉常磐苑
- ◆参加者 25名(正会員24名・賛助会員1名)

■はじめに

1泊の研修旅行は研修部以来の久しぶりの参加でした。

もともと気が乗らずにいたのですが、足立美術館の名が妙に頭の中に残っていました。

日経新聞か何かの雑誌の特集『1度は訪れてみたい美術館ベスト10』の第1位が足立美術館だったと思います。

ぐずぐずしている内に岡田さんより誘いがあり、よし行こう!と思い立ったのでした。

研修旅行について、何か書いて欲しいという事でしたので、思いつくまま書いてみました。

■ベンガラの街 『吹屋』

3時間程バスに揺られて、最初の訪問地は岡山県高梁市の「吹屋ふるさと村」でした。



ベンガラを使った街並です。朱色の独特の街並みで良い雰囲気を出しているのですが、道がアスファルトだったのは非常に残念でした。

しかし、ここで特筆すべきは「広兼邸」です。(ベンガラの原料製造で巨大な富を築いたそうです)

小高い山の麓に築かれた石垣、その上に楼門、奥に母屋、蔵、長屋があります。何しろ圧倒的な迫力なのです。まさに城郭です。何か別世界に入り込んだようです。バスガイドさんが、これを見たら「鳥肌が立った」と言っていました。正にその通り、この建物は一見の価値ありです。

ちなみに、広兼邸は、横溝正史「八つ墓村」の映画ロケ地で、昭和52年と平成8年の2度に亘り放映されたそうです。

もう少しこの街を見たかったのですが、宿泊地玉造温泉まではまた3時間程の行程、名残を惜しみながら吹屋をあとにしました。

■松江城、武家屋敷

2日目の午前の見学は、松江城と武家屋敷です。松江城は現存する12天守の内の1つだそうで、美しいプロポーションを持った風格あるお城でした。天守の前庭では「まつえ若武者、舞姫隊」のショーが演じられており、思わず見入ってしまいました。城を背景の甲冑姿には何かそそられます。

あと40分程、大急ぎで武家屋敷の方に廻りまし



た。城を巡るお濠に沿って武家屋敷が建て並んでいます。小泉八雲が過ごした根岸邸、昔の屋敷を利用した和菓子店、お蕎麦屋さん、公開の武家屋敷、お濠には観光客を乗せて巡る屋形船、歌声も聞こえて来ます。なかなか「よろしいでは」と思える風景なのですが、ここも残念、屋敷街前の道が交通量の多いアスファルト道路で、狭い歩道に沿って巡るようになっており、お濠の側に移るのも一苦労。お城、お濠、武家屋敷を一目で望めるスポット、近くには茅葺の厚い入母屋の茶室「明々庵」もあり、もっと積極的な見せ方でも良いのではと独り言...

さて、バスに戻って次は昼食です。松江の「鯛めし」は有名ですがこれは本当に美味しい。お腹いっぱいごちそうになりました。

次は、いよいよ足立美術館です。



■足立美術館

ここでの目的は2つ、1つは庭を見る。もう1つは横山大観の本物を見るということです。

雄大な中国山脈を借景にした、この日本庭園は建物の各所から望むことが出来ます。その美しさは筆舌に尽くし難く、正に「生きた日本画」と言え、「世界が認めた庭」に納得の一時でした。創設者の「庭園もまた一幅の絵画である」という信念



のもと、91歳で亡くなるまで庭作りに心血を注いだ、その遺志を引き継いだ庭師達、館員全員が庭の隅々まで目を配り、守り育てているそうです。



1つ言い忘れていました。休憩所の床の間に壁をくり抜いて、あたかも一幅の水彩画が掛っているように見える「生の掛軸」や「生の額絵」も思わず声が出てしまうくらいの見事さでした。時間の許す限り、2回、3回と巡回してしまいましたが、心と懐に余裕があれば、お茶室で抹茶を頂いてもっと心豊かになっただろうと少し心残りです。

庭園の方に気が取られ、大観の方は「見た」というだけに終わってしまいました。

再度訪問の機会を持ちたいと思います。その時はきっとお茶を頂こうと...



■帰途・余談

帰りの車中、バスガイドさんがいくつかの出雲の神話の話をしてくれました。丁度、バスの中で読もうと持ち込んだ本「日本人はなぜ日本のことを知らないのか」の内容が正にその神話の話で（日本書紀、古事記）神話から歴史に変わる時代について

書かれています。つまり「日本がいつ出来たか」について書かれています。

出雲を治めていた大国主命（スサノオノミコトの子孫）が「国譲り」をし、天照大神の孫「ニニギノミコト」（この代から有限の命となる）が「天孫降臨」し、「日向三代」を経て「カムヤマトイワレヒコノミコト」が初代の神武天皇に即位される。それは、紀元前660年の元旦と日本書紀に記載されており、グレゴリオ歴に換算したのが2月11日に当たるのだそうで、今の建国記念の日となっている。（元の紀元節の日当たる）今の天皇は神武天皇から始まるらしい。そして現存する国家の中で、日本が最古の国だから日本人よ、もっと誇りをもてということらしい。

ガイドさんの話を聞いていて思いましたのが「イザナギ、イザナミのミコト」の国生みの神話の続きで、国造りのあとに生まれた天照大神、月読命、須佐之男命、三神の他にひるこのかみ蛭子神を生み、葦の船で流したとされ、その行き着いた先が西宮で、その神を祭っているのが「えびす神社」だとの言われで、そうすると「えびすさん」は天照大神と兄弟という事になり、何となく楽しい気分になります。

ちなみに七福神の中で日本人は「えびすさん」だけです。大黒さん（インドの神）の姿は間違えられて大国主命の姿に描かれているようです。

■温故知新

色々書いてきましたが、古い建物を見る旅行もなかなか良いものだと思います。最近、近代建築を見る機会が多い事もあってか、新しい建物を見た時よりも、先人の知恵や熱い思いが肌で感じられ、心が豊かになって来ます。それと同時に自身に対しての反省の念も起こってきます。年をとったせいでしょうか、新しい建物より、古い建物の方に興味が移っているようです。もともと最初は古い建物の勉強から始めたのですから、1廻りしてまた始めに戻ったということでしょうか。

時間的にきつい旅行でしたが、充分楽しませて頂きました。次回の企画を期待しています。

神戸市すまいの耐震キャンペーン報告

神戸市都市計画総局総務部 耐震化促進室 主査 岡本 知佳子



●H23年度神戸市すまいの耐震キャンペーン

神戸市・神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）では、すまいの耐震化を集中的に普及・啓発するため、市民団体・専門家団体・報道機関等と連携し、毎年9月・10月に『神戸市すまいの耐震キャンペーン』を開催しています。これまで、さんちかで耐震改修体感模型をお披露目したり（H20）、センター街で、大集合した着ぐるみと普及啓発パレードを行ったり（H21）、桂三



枝さんと市長との対談で地震への備えをお願いするなど（H22）、さまざまなアプローチを試みました。

23年度のキャンペーンで何をするか、と考えたとき、やはり3月11日に発生した東日本大震災を真っ先に思いました。阪神・淡路・東日本と大きな二つの震災を体験した私たちの世代が次に来ることといえば、「次に備えること」しかない。1回切りのイベントでは、来ていただける方も限られる。そして、普段は地震関連のイベントには行かないという方々にも、南海・東南海地震の発生確率をお知らせしたい。

そこで至った結論が、「市内9区で1箇所ずつ開催すること」でした。正直なところ、マンパワー、2ヶ月で9区はめるという日程調整、どちらも無謀な出発だったとは思いますが、すでに人が集まっているところに向いていく、その方々の一人でも多くの足を留めていただく、をモットーに

各区で開催されるイベント、区役所、図書館、ショッピングセンターなど、9区でバラエティに富んだスケジュールが組みました。内容は、近い将来発生すると予測されている南海・東南海地震への備え、震災の被害状況とすまいの耐震化に関する展示及び専門家（建築士）による相談会を行いました。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の耐震診断員のみなさまには、お忙しいところ、相談員をお引き受けいただき、ありがとうございました。相談ののち、無料耐震診断の申し込みに結びついた事例もありました。また、「建築士さんに相談するのは緊張する」、という市民も多くいらっしゃいますので、すまいるネットに行かなくても、身近な場所で専門家と相談が出来たことも大きなポイントだったと思います。

結果として、9区あわせて、2,000人を超える方に耐震化の普及啓発を行うことが出来ました。あらためてお礼申し上げます。

●耐震化進捗状況について

耐震化促進事業の実績について、東日本大震災発生後4月までは顕著な影響が見られませんでした。5月に入って無料耐震診断の件数が増加してきました。22年度と比べて5月～10月の耐震診断の件数は1ヶ月あたり10件以上増えました。これまで診断を迷っていた方が震災を機に申し込まれた方も見受けられます。計画策定補助の件数も好調だった22年度と同ペースで動いています。また、耐震改修工事の補助申請も昨年と同様のペースで申し込みがあるので年間200戸程度の改修戸数になる見込みです。建物内の耐震化（家具固定）について、23年度は新たな制度を設けました。マンション管理組合・まちづくり協議会・自治会など地域団体が10戸以上でまとまって防災の取り組みの一環として家具固定を実施する場



合、市から家具固定専門員を派遣します。家具固定補助制度の対象者である、高齢者・障がい者・小学生以下がいる世帯は2家具まで無料で固定します。6月から開始し、12月末までで600戸近くの申し込みをいただいています。

●24年度にむけて

東日本大震災では津波で甚大な被害があり、将来必ず起こると言われている南海・東南海地震でも津波対策が重要な課題です。しかし、津波から避難するためには、建物の耐震化と家具固定等による室内の耐震化がなされていることが大前提となります。地震・津波による甚大な被害を目の当たりにした今、その教訓を生かし市民の生命を守るために、今後とも引き続き、普及啓発に力を入れ耐震化の促進により一層取り組みます。

また、市民の方が補助制度をより使いやすくなるように申請方法の変更を予定しています。さらに、診断から計画策定を神戸市耐震診断員が一貫して行う「耐震おまかせパック」についても、よりご活用いただける工夫をしていきます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部のみなさまには、市民が安心してすまいの耐震化を進められるよう、一緒に取り組んで参りたいと思いますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

●神戸市すまいの耐震キャンペーン●

兵庫区報告

場所：兵庫運河

日時：平成23年9月10日（土） 13：30～17：30

一級建築士事務所ブラーマ190 竹中郁雄



この日は兵庫運河祭！
皆さんお祭り気分です耐震にどれだけ興味があるのかな～

それにしても人出だけは凄いなあ～

それに何より最高気温31.8度とチョー暑い!!

アンケートに答えるとガラガラ抽選で耐震グッズやTシャツなどが当たるといので、皆さん取りあえず回答して抽選だけはしてくれます。

おかげでアンケートは全部で約400部も集まり、我々スタッフは座ることも出来ない、目の回る忙しさです。

このうち何人が住宅の耐震性に気を配ってくれるのでしょうか？

とりあえず、知人を捕まえては、アンケート！アンケート！！



市議員さん、県議員さん、兵庫消防署長さん、県工校長先生、社長、アンケート！アンケート!!
回答いただいた方に、ガラガラ抽選結果にかかわらず、神戸市耐震パンフレットや耐震診断申込



書を持って帰っていただきましたが、そのほとんどが帰ってゴミ箱直行かなあ？

本来の私の役割である耐震相談も1件だけありました。

400人のうち1人でも2人でも耐震化の必要性や家具固定に気づいてくれればよいのですが・・・

それにしても暑かった (´Д`；；)

ほんとに暑かった (@Д@；) (；ーA) アセアセ・・・

●神戸市すまいの耐震キャンペーン●

灘区報告

場所：都賀川公園

日時：平成23年10月8日（土） 10：00～15：00

前田信行一級建築士事務所 前田 信 行

灘区の担当として神戸支部からは成瀬会員と私の2名にて午前と午後に分かれ、キャンペーンの参加応援をさせていただきました。都賀川公園の「灘ふれあい秋まつり」も今回で阪神淡路大震災後、第15回となるようで今回は区制80周年を祝うと共に東日本大震災被災地復興支援も兼ね、また、晴天も重なり多くの人でにぎわっていました。私は地元灘区の住人として、この時期、この公園で何かイベントをしているとは知っていましたが、今回参加して、こんなに盛大とは思いませんでした。

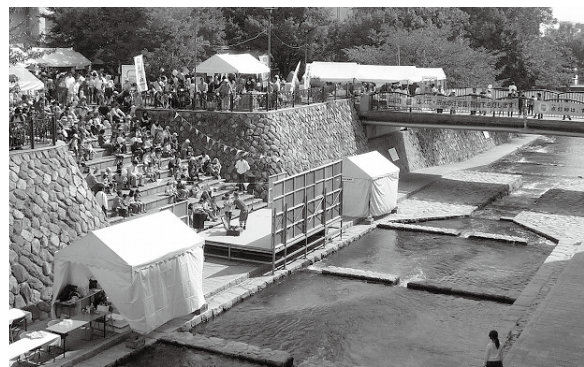


会場の特設ステージでは和太鼓、チアダンス、バルーンミュージックショー、地元児童館からキッズダンス、婦人会の民謡にコーラス、地元中学校の吹奏楽部による吹奏楽などの他、60団体がブースを出されたようで、軽食販売や衣服の販売、子供の遊びコーナーなどを、家族連れが楽しんでいました。ところで、このような大勢のに



ぎわいの中、神戸市すまいの安心支援センターのブースは南ステージ近くに構えられました、市が用意された住宅に関するアンケートは回答者には、ハズレ無しの抽選会や無料のシール、うちわ等の配付もあり、なんと、280人からのアンケートを頂戴することができました。尚、我々相談員に加えて山本支部長夫妻も応援に駆け付けられ、住宅の耐震化やその他の建築に関する相談事に備えて、張り切って待機させていただきましたが、相談事はブースの片付けを始めた頃、賃貸住宅に住まわれている方が家具の固定についての相談をされたのみでした。ちょっと肩透かしにあったようですが、お祭り気分に訪れた人達には住宅の相談事には関心が吹っ飛んだのでしょうか？

ただ、沢山のアンケートを是非、今後の市の施策に生かして欲しいと切に願います。



●神戸市すまいの耐震キャンペーン●

垂水区報告

場所：レバンテ垂水2番館1階ホール（垂水区役所前）

日時：平成23年10月29日（土）・30日（日） 10：00～16：00

阪本建築事務所 阪本元秀

垂水区での開催として2日間で4名参加、市民向けに耐震相談及び耐震診断申込みのお手伝いをさせて頂きました。

参加した感想として私の担当日（10月29日午後）の状況としては、耐震等の相談業務が3件、耐震診断の申込みが3件程度で、通行される方々も少なく、成果としては小さいですが、地道な活動としては意義もあった様に思われます。

数年前に神戸市の無料耐震診断を受けられた方が相談に来られ、色々とお話を聞かせて頂く中でご自宅にお伺いして現況を確認した上で再度、相談し説明をさせて頂いた方がおられます。

現地を確認しましたが、高齢者の1人暮らしで建物の老朽化も著しく、十分な耐震改修するには相当な費用の掛かると思われることを説明し最低

限、必要と思われる補強部位について説明し、近隣で、ご本人の知合いの大工さんがおられたため、内容を説明し補強することとなりました。

ボランティアになってしまいましたが、これで良かったと思っています。

耐震診断から数年たっても、なかなか耐震改修まで踏切れない方が多いのが実情ですが、建物の老朽化、居住者の高齢化、他、補助制度の利用ができない建物、等、耐震改修の難しさを感じる今日この頃です。

耐震改修補助制度の利用ができず、行政が数値で把握できない耐震改修もあり、その部分での活動も我々、建築士の姿勢を問われる部分ではないかと思いました。



耐震改修工事オープンハウスをおえて

パウレ設計室 田中邦男

平成23年12月18日(日)・19日(月)神戸市北区北五葉において一般市民の方を対象に神戸市すまいの支援センター及び神戸市耐震化促進室の主催で開催されました。当日は2日間とも天候に恵まれたと言えども師走の寒いなか初日は11名、二日目は16名延べ27名の見学者がありました。



今回の建物は、昭和48年建設(築38年経過)の木造2階建在来工法の一般的な住宅で平成17年に無料耐震診断を受け今回神戸市・兵庫県の耐震改修工事に対する補助制度を活用して工事をしており、リフォーム工事も合わせて行っている事、一般診断結果(評点の説明)から補強個所の決定のプロセス、耐震補強の方法・工法の選定、金物の種類・取付位置、住人の方が生活しながらの工事で改修工事の為壁を剥がしてみないと分からない事もある。等々の説明をさせて頂きました。

見学者からは、

金物はカスガイでは駄目なのか？

基礎を新しく儲け補強するのに地盤の転圧はしないのか？

又、どのような形をしているのか？



構造用合板の代わりにコンパネでも良いのか？
構造用合板をなぜ採用したのか？
工事費用はどれ位掛かったのか？
屋根の日本瓦葺を残して補強できないか？
※今回は屋根を軽量化して耐震補強した為の質問と解する。

耐震診断者、計画策定者、工事監理者はどの様に決めたらよいのか？
等の質問もあり個々に説明させて頂きました。

見学者の中には、「建物の形がうちとよく似ている。」と言う方や既に工事が終わっていて「疑問を晴らしたい。」と言う方もおられました。又、私が以前に簡易診断でお伺いした家の方も何人が参加して頂いており、まだまだ耐震改修工事が進んでいないのだなと痛感しました。

見学会終了後には、耐震診断の申込をされる方もおられ、今回のオープンハウスを開催させていただいて非常に良かったと思います。

見学者の半数以上が近隣の方で、これを期に耐震改修工事を検討・進めて頂ける事を期待します。



建築科3年生の「耐震診断実習を終えて」

兵庫県立兵庫工業高等学校
建築科長 油 浅 保 雄

本校で耐震診断実習を始めて5年、教材としての住宅探しも年々難しくなり、何か次のステップへの変化を必要としていた折り、3.11「東日本大震災」が発生しました。すでに、阪神淡路大震災の記憶の薄い生徒達にも、3.11からの震災に関する強烈なメッセージが、深く心に刻まれていることが見て取れました。

このような状況下でスタートした今年の耐震診断実習の目標は、教材としての家屋をお借り出来ない分、①耐震診断の内容を更に簡潔にし、明解な講義をお願いすること ②耐震改修の方法を導



くこと ③診断対象となる家のモデルをシンプルなプラン内容で行うことでした。

講師は、スタート時よりご指導を頂いている、社団法人兵庫県建築士事務所協会・神戸支部の迫水 和裕 先生、竹中 郁雄 先生にお願ひし、全面的支援を神戸市住まいの安心支援センター“すまいるネット”の倉橋 正己センター長の下、スタッフの皆様にお力添えを頂き無事終えることができました。

耐震診断実習の講義は3回実施され、(50分×8コマ=400分)



参：(二階建て用)

班	1班		2班		3班		4班		
屋根	非常に重い屋根		重い屋根		軽い屋根		軽い屋根		
体力壁配置	配置バランス良好		配置バランス良好		配置バランス良好		配置バランス不良		
診断結果		X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向	X方向	Y方向
	1階								
	2階								
考察・感想	ワークショップ (診断結果発表)		ワークショップ (診断結果発表)		ワークショップ (診断結果発表)		ワークショップ (診断結果発表)		
キーワード	屋根(建物)の重さ、筋違(耐力壁)の量、バランス、壁の仕様(仕上げ)、建物の劣化								
	積雪、建物の形、地盤、地域性								

図 各班の診断内容

講義Ⅰ：「木造建物 耐震診断・改修に関する講義」「一般診断について」(迫水先生)

講義Ⅱ：「耐震診断・改修に関する講義」「耐震診断の実務」(竹中先生)

の内容で映像と住宅モデルを用い、基礎となる講義を実施致しました。



講義後の実習のは、診断の為の木造住宅モデルを、ご支援を頂く“すまいるネット”のご好意でお借りし、耐震用木造住宅モデルの平屋建て・二階建ての実習模型を教材用住宅モデルに見立て、基本プランとして進めて行きました。

生徒は4班編成に分かれ、個々に特徴のある住宅情報を各班へ割り当て、その内容毎に一般診断法に準じて評価検算を行い、その過程と診断結果を各班ワークショップ方式で話し纏めて行きました。相対的に二階建てのモデルの方が生徒の意見も活発に出、理解度も深まるなど、当初想定していた自らで考え意見を出し合い解決策を纏めていくという、積み重ねの実習がいつの間にか目前で展開されていました。



そして、その過程と結論を班員全員が力を合わせ皆の前でプレゼンしていくことで、より研鑽を積み結果、耐震改修方法を導き生徒の理解も深まって行きました。

また、実施が文化祭を跨ぎ行われた為、文化祭では生徒が案内係りを務め、耐震診断模型を展示・可動し、長周期振動のビデオを流すなどして、外部のお客様にも体験していただき好評を博しました。

更に、年明けには、市民ギャラリーへも今回の耐震診断の実習風景を展示するなど、一般の方へも広くアピールして行きたいと考えています。

最後になりましたが、九月当初の企画会で、実習を終えた際に“生徒が分かったと笑顔で終る”をゴールにしたいと、宣言しお願いしていたところ、ご多忙にも関わらず、この約束を果たすべく先生方には多くの時間を割いて頂いたことへ、心より感謝申し上げます。



第28回親睦ボウリング大会

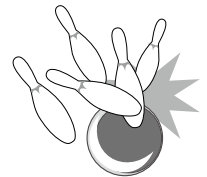


◆個人の部

優勝	三好 卓治 (菱電エレベーター(株))
準優勝	越智 修治 (神鋼不動産ゾークレフサービス(株) 一級建築士事務所)
第3位	小原 一人 (文化シャッター(株))

◆団体の部

優勝	神鋼不動産ゾークレフサービス(株) 一級建築士事務所
準優勝	菱電エレベーター(株)
第3位	文化シャッター(株)



参加者名簿及び組み合わせ表

レノ/No	氏名	事務所・会社名	レノ/No	氏名	事務所・会社名
25	内海 浩一 内海美羽菜	(株)ユニオン設計 〃	32	畑林 祥美 樋口 翔守 倉橋 正巳	すまいるネット 〃 〃
26	佐伯 義之 阿路川美香 小川 京子 佐伯 裕治	(株)佐伯設計 〃 〃 〃	33	平川 達也 有本 健吾 芳野 美香 宮本又規子	創企(株) 〃 〃 〃
27	田中 邦男 迫水 和裕 藤谷 章	パウレ設計室 (株)迫水建築設計事務所 エスケー化研(株)	34	野村 幸治 三好 卓治 太田 仁	菱電エレベーター(株) 〃 〃
28	鷹取 憲一 橋本 昌和 山根 英次 塩田加奈子	神鋼不動産(株)一級建築士事務所 〃 〃 〃	35	川崎 史 川崎 好美 川崎 敏嗣 川崎衣里永	(株)川崎設計 〃 〃 〃
29	北風 雅領 平川 宏行 高田 昌之	北風建築設計事務所 (有)竹久建築設計事務所 朝日共同設計	36	越智 修治 佐伯 哲也 高松 典生	神鋼不動産ゾークレフサービス(株)一級建築士事務所 〃 (株)神戸清光
30	玉野 光彦 竹村 太一 小原 一人 城野 孝次	文化シャッター(株) 〃 〃 〃	37	中島 哲 井川 靖章 福富 潤一 延川福太郎	(株)盤設計 〃 〃 〃
31	山本康一郎 竹中 郁雄 前田 さえ 平井 保夫	(株)山本設計 プラーマ190 〃 大阪ガス(株)			

同好会だより

●KJ会 (ゴルフ同好会) 【会長：為金清人 幹事：水野政博、八木啓祐】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久しぶりにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

第171回より新世話人により運営をおこなっています。引継ぎ宜しくお願いします。

3月24日の176回は城山ゴルフ倶楽部でしたが、東北大震災を受けて中止しました。

◆第177回 H23.9.30 (六甲国際 (東コース)) (参加者10名)

優勝	2位	3位
竹中 郁雄	水野 政博	平井 保夫



◆第176回 H23.6.16 (東条の森CC) (参加者12名)

優勝	2位	3位
松本 正彰	児島 賢吉	為金 清人

◆第178回 H23.12.8 (船坂ゴルフクラブ) (参加者8名)

優勝	2位	3位
為金 清人	竹中 郁雄	八木 啓祐



●KM会 (麻雀同好会) 【幹事：前田進一】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数ですので麻雀の初心者などもご遠慮なく参加してください。

◆第36回 H23.3.5..... (参加者4名)

優勝	準優勝
高田 昌之	前田 進一



◆第37回 H23.7.2..... (参加者8名)

優勝	準優勝
辻 俊夫	大原 茂明

◆第38回 H23.11.12..... (参加者8名)

優勝	準優勝
榎井 弘	前田 進一



(財)神戸市都市整備公社との意見交換会

日時：平成23年12月21日（水） 13：30～14：30

場所：サンパル5階 セミナールーム

● 整備公社との意見交換会での議題 ●

1 外郭団体の再編、統廃合について答申があったとお聞きしておりますが整備公社様の今後の主要事業、事業形態についてお教え下さい。

2 当委員会は、整備公社発注の設計並びに関連業務を市内事務所への発注を切に願う者として、今年度これまでの整備公社発注の建築設計業務等の件数、発注金額および市内事務所の指名割合と受注件数、受注金額についてそれぞれお教え下さい。また、今年度の発注・次年度以降の発注情報についてもお知らせください。

3 都市計画総局発注と整備公社様の発注では、事務所指名の考え方やシステムなどについて異なるのでしょうか？許せる範囲でお教え下さい。

また、土木系建設コンサル業務では、昨年度から概ね経理課発注に代わり、市内コンサルが優先指名されるようになりました。そして、事前に予定価格が発表になり、最低制限価格が設けられたことからダンピング入札はなくなり市内コンサルの受注件数・受注額が大幅に増加しました。

（建築設計案件でも11月より経理課発注が始まりました）

- ①指名基準・選考方法の多様化について（コンペ・プロポーザル方式の採用）並びに市内建築設計事務所への優先指名について
- ②入札の情報公開（事前・事後）、最低制限価格設定の採用について
- ③設計特別JVでの応札の是非について
- ④電子入札の導入について

4 整備公社様から見た市内建築事務所の技術力に対する課題等についてお気づきの点があればお教え下さい。

5 当委員会からの要望事項

- ①特記仕様書に業務範囲を明確かつ具体的に表示していただきたい。
- ②設計に必要な提供資料は、契約後速やかに提供いただきたい。
- ③業務変更が生じた場合は、設計変更処理を適切に行っていただきたい。
- ④業務報酬基準（告示15号）を順守して貰うと共に、作業内訳根拠を公表していただきたい。

(財)神戸市都市整備公社との意見交換会をおえて

事務所協会神戸支部 支部長 山本 康一郎
公共建築設計特別委員会 委員長 田中 邦男



平成23年12月21日(水)神戸市すまいの支援センターセミナールームにて公社側からは施設整備推進本部長中川様、都市整備課長大西様、都市整備課建築係長新浜様の3名、当特別委員会は6名の参加を頂き各議題について意見交換をしました。

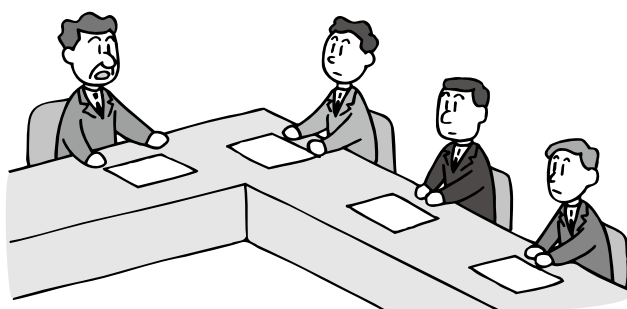
公社の事業形態についての説明。

事業の特殊性からして電子入札の難しさ。

受注事務所の技術力、意匠業務と積算業務の連携不備。(特に市内事務所)等
情報公開の必要性。

最低制限価格設定。業務報酬基準の順守。等についてもざっくばらんに意見交換をしました。

今回の意見交換会の内容を踏まえ今後特別委員会で協議・検討していきたいと考えております。まずはご報告まで!!



平成23年度 建築士事務所キャンペーンをおえて

日時：平成23年10月2日（日） 10：00～16：00

場所：鉄人広場内（神戸市長田区若松町6丁目）

副支部長 岡田 徹



平成23年10月2日、日曜日、今年も、神戸市長田区の若松公園予定地の一画をお借りし、事務所協会神戸支部の建築士事務所キャンペーンを開催しました。当日は、朝から暑くも寒くもなく、天候に恵まれました。神戸市すまいの支援センターの後援を頂き、建築士事務所のアピール、耐震診断促進の広報、欠陥住宅の対応方法、リフォーム方法、マンションの大規模改修工事等々、市民の方々からの相談に対応しました。

会場にはテントを6張用意し、支部会員の建築作品パネル、耐震金物、建物補強パネル、各種パンフレット等々を展示、配布をしました。神戸市のウォークラリーの日と重なり、鉄人広場がそれの一拠点ようで、一般市民の方々を合わせ、たくさんの皆様に立ち寄って頂けました。



耐震補強金物の展示の前で、見入っておられるご夫婦や、建物を揺らす耐震模型には、子供さんが自分で揺らして大変興味深げに見えました。又今年、阪神大震災の写真パネルと東北大震災の写真パネルを展示しました。通行される方々が、足を止めて見入っていらっしゃいました。

無料相談会ではマンションの理事3名様が来られ、大規模修繕工事の進め方の相談や、阪神大震災後に建てた戸建住宅で床にカビが発生して困っているとか、耐震診断を受けたいが、結果が悪いと怖いので躊躇しているとか、遠方から開催案内を見られて、お越しになり一般診断の申し込みをされた方もいらっしゃいました。今回も神戸支部

賛助会の会員様に耐震改修、リフォーム、外壁改修、バリアフリー、設備改修の商品パネル展示と無料相談に対応して頂きました。ペンキでのお絵かき体験ではたくさんのお子さんに参加して頂き、非常に喜んでもらえました。来年はもっと、市民の方々に関心を持ってもらえる企画を考え、このキャンペーンを充実したく思いました。

最後に会場を快く貸して頂いた神戸市都市計画総局、NPO法人KOBE鉄人PROJECT様にはお礼申し上げます。又、当日は多忙の中朝早くからご協力いただいた会員、賛助会員並びに関係各位に心より感謝申し上げます。

最後に会場を快く貸して頂いた神戸市都市計画総局、NPO法人KOBE鉄人PROJECT様にはお礼申し上げます。又、当日は多忙の中朝早くからご協力いただいた会員、賛助会員並びに関係各位に心より感謝申し上げます。



建築士事務所キャンペーンに参加して

エスケー化研(株)神戸営業所 藤谷 章

今年は平成23年10月2日(日)に鉄人広場にて(株)兵庫県建築士事務所協会神戸支部主催で一般の方々が建築士に相談しやすい環境をつくるキャンペーンが行われました。

この度、賛助会加入の弊社として

協力をさせていただきました。計画段階から重要視したのは、来場者を増員するには塗料メーカーとして何が出来るかという事です。塗料を用いて出来る事の発想から「お絵かきコーナー」を催す事にしました。去年から始め、子供さんやご家族の方々に好評でしたので正会員様のご配慮により中央の目立つ重要な位置を用意していただきました。感謝の気持ちと共にたくさん集めるぞ!!と気合が入りました。

天候にも恵まれ当日の人通りも多く、お蔭様で「お絵かきコーナー」はかなり盛況だったと思います。

設計の先生方も関心を持って見に来て下さった

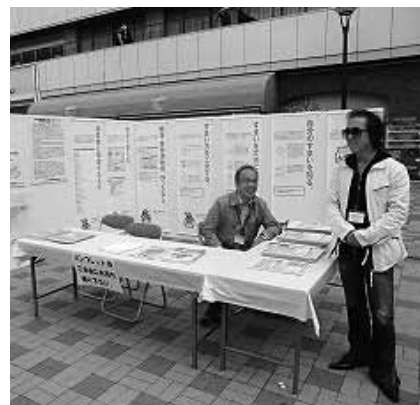


り、お手伝いいただいたりと嬉しい限りでした。他ブースを拝見した時も住宅相談コーナーや各企業相談コーナーにも多くの方が訪れ、嬉しく感じていました。集客が多かった事でお互いに今後の引合いや知名度向上

に繋がれば幸いです。弊社としては、今流行りの環境に優しい塗料で安心して「お絵かき」をしてもらいましたので、大人の方々には塗料の進化が伝えられたのではないかと思います。

さて、キャンペーンに参加させて頂き感じた事としましては、参加される賛助会の企業がいつも同じである事です。このような催しで賛助会も一般の方々に知ってもらえたり、何より設計の先生方と開放空間だからこその話の和が広がったりする機会にもなると思います。

是非、今後は参加する企業が増え、正会員様と共に不況を乗り越えようという機運にしていきたいものです。



建築士事務所キャンペーンに参加して

菱電エレベータ施設(株) 岡 本 季 雅



平成23年10月2日(日) 神戸市長田区の若松公園(鉄人広場内)にて建築士事務所協会主催のキャンペーンが開催され、賛助会員である私達、菱電エレベータ施設(株)も参加させていただきました。テント張りの中で当社が販売を扱っているホームエレベータ(個人住宅用)小荷物専用昇降機(リフト)太陽光パネルの各パンフレット配布及びパネル展示を行いました。当日はあいにくの曇空でしたが、休日であり、また商店街への通り道のため買い物の行き帰りに立ち寄ってもらって展示品を見てもらったり、エスケー化研様が子供

向けに絵描きブースを設置されており子供連れの家族で楽しんでもらったりしました。また当日は歩こう会の通過地点でもあった為、多くの方で賑わいました。キャンペーンのチラシ&ポケットティッシュの配布をお手伝いしたりして夕方まであっという間に過ぎてしまいました。今回もキャンペーンの内容は耐震診断の無料相談との事で多くの方々が相談に立ち寄られ建築士の先生達も対応に追われて忙しくされてました。今後も引き続きキャンペーンを実施する事でより多くの方々へPR活動を行っていければと思います。





『シャッターのルーツ』

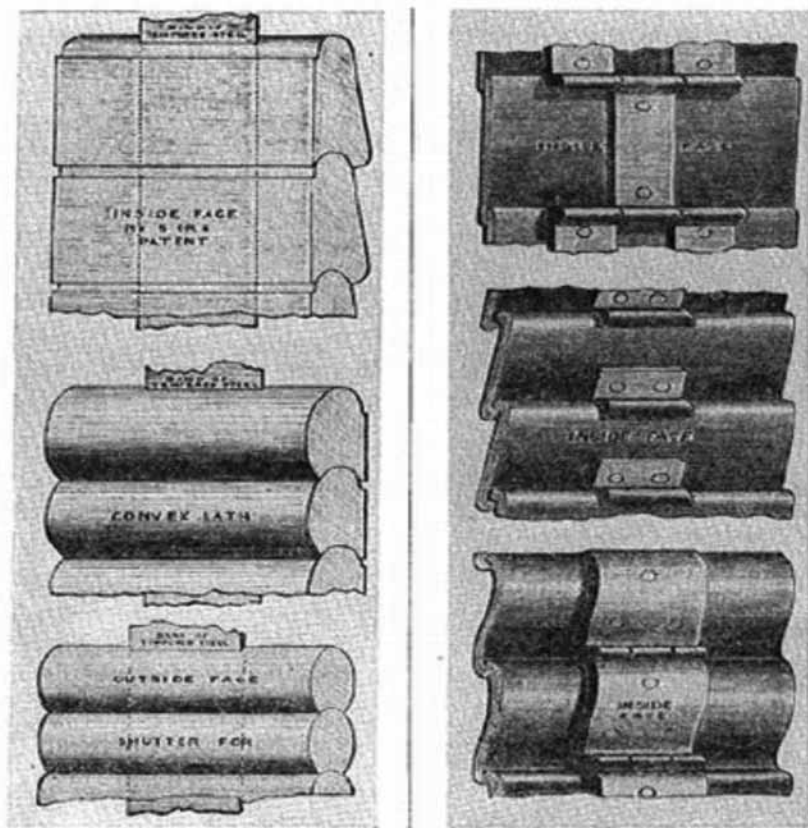
三和シャッター工業(株) 三原 芳之

私自身、四半世紀以上にわたり携わってきたシャッターという商品のルーツについて殆ど知らなかったことに気付いて調べてみました。イギリスで世界初のシャッターが完成したのは1837年(天保8年)のことです。天保8年といえば、日本ではまさに水野忠邦による天保の改革の真っ最中ではありませんか。この時代にもうシャッターの原型が実用化されていたとは驚きです。それは木片を綴り合せた防犯目的の木製シャッターであったとのこと。今日でも木製のオーバースライダーが高級志向の商品として存在しますが、木製の巻取り式シャッターを現代の技術を駆使して作ってみても面白いのではないかと思います。

この木製のシャッターが現在のようなスチールシャッターとなったのは1872年(明治5年)イギリスのクラーク・バーネット社が特許申請したのが最初と言われ、この5年後くらいからヨーロッパではスチール製シャッターが実用化されていったようです。さて日本でのシャッター第一号はいつ頃だったのでしょうか。明治29年(1896年)2月に完成した日本銀行本店のものが日本で最初に取付けられたシャッターであることは確かなようですが何度かの改修によってこのシャッターの実物は現存していないそうです。

このシャッターは当時「畳込防火鉄戸」と呼ばれイギリスから輸入したクラーク・バーネット社製でした。インターネットで偶然見つけたのですが愛媛県四国中央市の流星堂という商店でクラーク・バーネット社のシャッターが現役で使われているそうです。すごいです。

それでは日本で最初にシャッターが製造されたのはいつ頃だったのでしょうか。明治37年8月14日大野製作所の創設者・大野正氏により特許申請された特許名「防火戸」から本格的な国産シャッターが始まったとされています。この当時のシャッターは既に今日でも立派に通用するものであり逆に言うと様々な技術が進歩した今日のシャッターも原理的にはこの当時のシャッターと殆ど差がないと言えるほどの完成されたものであったそうです。日本でのシャッターの歴史が100年を超えた現在、衰退傾向にあるとは言え、まだまだ活躍の場はあります。より安全でより便利なシャッターの開発・普及を今後も目指してまいりたいと考えております。



クラーク・バーネット社の木片綴り合せシャッターと鋼製シャッター

新入会員紹介

原田 兼三

株式会社 トーアコーポレーション一級建築士事務所

〒658-0011 神戸市東灘区森南町1丁目7番8号

TEL078-452-6500 FAX078-412-0719

E-mail : win@toaxx.co.jp

出口 禎

出口禎アトリエ

〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町5-15 舞子マンション603

TEL078-754-8878 FAX078-754-8886

E-mail : info@power-exit.com

萩田 義彦

株式会社 エー・アンド・イー設計事務所

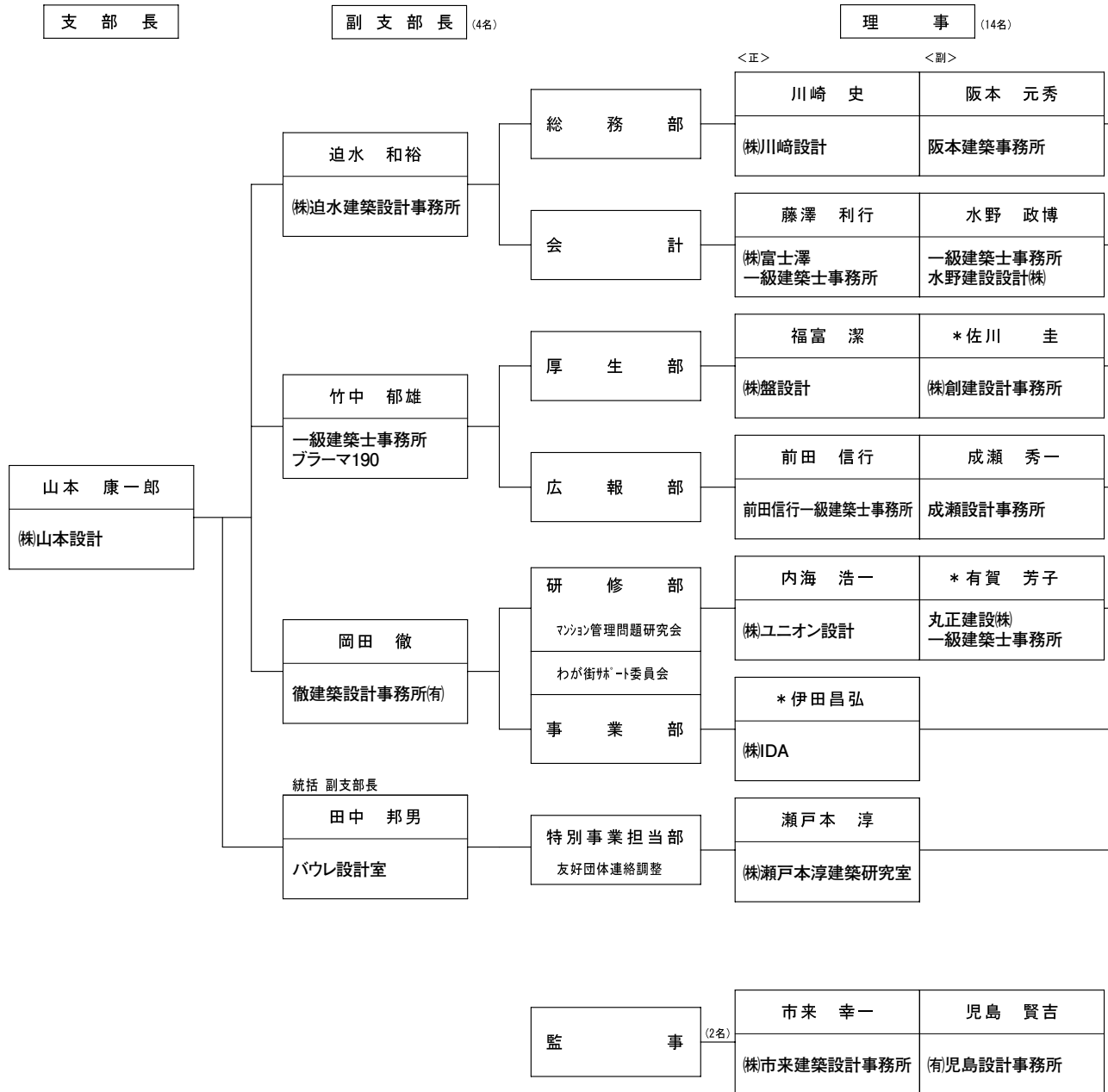
〒654-0151 神戸市須磨区北落合5-1-335-106

TEL078-794-2435 FAX078-794-2424

E-mail : a_and_e@drive.co.jp

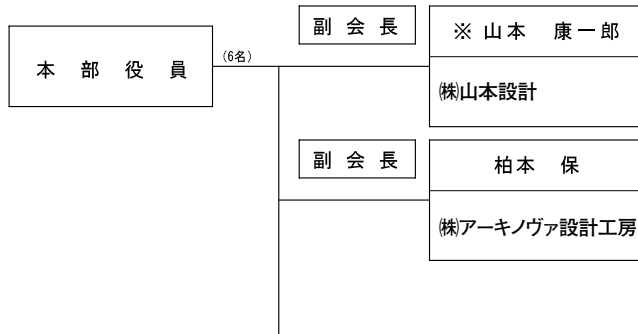


(社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部 組織図・役員業務分担表



相 談 役 (4名)

正井 彬博 (株)正井建築設計事務所	北風 雅頌 北風建築設計事務所
水谷 長清 (株)神戸建築設計事務所	高田 昌之 朝日共同設計



(平成22・23年度)

*印は、新任役員を示す。
 ※印は、重複役員を示す。 H 22. 09. 25

幹 事 (21名)

藤木 宏互	北澤 昌美	八木 啓祐
㈱藤木設計事務所	北澤建築事務所	八木啓祐建築研究所

五百旗頭 洋一
I建築設計事務所

平川 昌勝	前田 進一	* 森 建	* 岩根康朗(額谷)
一級建築士事務所 創企㈱	前田建築設計事務所	神鋼不動産㈱ 一級建築士事務所	㈱アーキディレクションズ

戎 真弓	東郷 正道
㈱戎真弓建築研究室	㈱東郷建築設計

畑岡 恒久	谷口 敏宏	* 前田 由利	* 石田邦夫(藤原)
(有)T&H設計 一級建築士事務所	㈱財田建築設計事務所	YURI DESIGN	㈱黒田建築設計事務所

植松 實	和田 利雄	吉田 多雄	廣原 俊元
清原建築事務所	(有)和田建築事務所	㈱吉田設計事務所	廣原一級建築士事務所

小島 順治
神戸中央設計

本部役員・部員・委員業務分担

部 名	部・委員会担当者名	
総務財務部	部員	水野 政博
教育情報部	部長	竹中 郁雄
	部員	戎 真弓
経営部	副部長	市来 幸一
	部員	高松 範明
技術部	部員	岡田 徹
	部員	廣原 俊元
広報渉外部	副部長	成瀬 秀一
	理事	後藤 周亮
わが街ネット 委員会	委員長	市来 幸一
苦情解決 委員会	部員	迫水 和裕
苦情解決 相談員	部員	迫水 和裕
倫理委員会	委員	高田 昌之
法定講習対応 特別委員会	講師兼任	岡田 徹
	講師兼任	竹中 郁雄
	委員	成瀬 秀一
役員選考常任 委員会	委員	高田 昌之
新・法人移行 特別委員会	副委員長	竹中 郁雄
	支部長代行	田中 邦男
組織運用規程 委員会	委員	岡田 徹
支部長会	支部長代行	田中 邦男

賛 助 会 (11社)

代表幹事 (正)大阪ガス(株)兵庫リビング 営業部都関チーム 平井 保夫 ※ 各部正幹事を副幹事とする	総務部幹事 (正)小松ケル工業(株) 神戸営業所 柳元 啓輔	厚生部幹事 (正)文化シャッター(株) 神戸支店 博谷 浩 (副)(株)神戸清光 高松 典生
--	--------------------------------------	--

広報部幹事 (正)関西電力(株) 神戸営業所 玉田 義樹 (副)三和シャッター工業(株) 神戸支店 三原 芳之	研修部幹事 (正)(株)INAXワンエーブマーケティング 神戸第1支社 村山 浩 (副)エスケイ化研(株) 藤谷 章	事業部幹事 (正)菱電エレベーター施設(株) 神戸営業所 三好 卓治 (副)(株)北村鉄工所 北村 憲司 太田慧一
---	--	---

理 事

後藤 周亮	※ 成瀬 秀一	※ 竹中 郁雄	※ 市来 幸一
都市建築設計	成瀬設計事務所	一級建築士事務所 プラマ190	㈱市来建築設計事務所

受 祝 賞

黄 綬 褒 章



柏 本 保

兵 庫 県 知 事 賞



後 藤 周 亮

兵 庫 県 自 治 賞



阪 本 元 秀

支 部 役 員 表 彰



吉 田 忍

当 会 員 吉 田 忍 理 事 が 平 成
23 年 8 月 4 日 逝 去 さ れ ま し た 。
こ こ に 生 前 の ご 厚 誼 を 深 謝 し 謹
ん で ご 冥 福 を お 祈 り い た し ま す 。

黄綬褒章を受賞して

(社)兵庫県建築士事務所協会 副会長 柏本 保

平成23年秋の褒賞に際し、はからずしも黄綬褒章の栄に浴し、去る11月15日に国土交通省にて褒賞および褒賞の記の伝達を受け、引き続き皇居に参内し天皇陛下に拝謁の栄誉とともにお言葉を賜り感激の極みでございました。

この受賞はひとえに、社団法人兵庫県建築士事務所協会本部および神戸支部の皆様の支えによるもので、皆様の代表としての受賞と心得、深く感謝いたしております。

思い起こせば、私は平成2年5月16日に会社を設立し、平成4年に(株)宮本設計 宮本会長(当時協会本部・会長)の推薦により(社)兵庫県建築士事務所協会に入会いたしました。

入会当時の神戸支部長は川崎支部長で、2年後の平成6年に若手起用の方針もあり、神戸支部理事に就任しました。その後、総務部長1期、副支部長3期を歴任させていただきましたが、平成10年より本部理事を務め、その後平成16年から本部副会長を拝命し、以降現在4期目つごう8年間副会長を務めさせていただいております。まだまだ、若手とっていましたが、気がつけば私も60歳を過ぎ、廻りを見渡せば上から数えたほうが早い年齢に差し掛かってまいりました。

私は40歳で独立し、会社創立以来今年で丸21年を迎えました。バブルが弾ける時期の独立であり、日本経済のその後の低迷期と重なり経済的にはあまり良い思い出のない21年間でした。

30歳台前半まで東京で修行期を過ごしましたので、関西での独立は不安でしたが、なんとか今日まで事務所を維持しつつ、皆様の世話役の末席に名前を連ねてから17年が経過しました。あいかわらずよれよれの経営状態ではありますが、なんとか頑張ってくることができました。これもひとえに良き仲間と切磋琢磨した結果であり、全ては良き仲間にも恵まれたおかげと重ね重ね感謝いたしております。

建築業界は相変わらず先行きの見えない状況で疲弊しておりますが、神戸支部の仲間と手を携え、若手育成のため、業界発展のため引き続き微力ながら頑張りたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。



作品介绍



設計監理／株式会社 瀬戸本淳建築研究室
 物件名／ワコーレ西神中央ザ・クリスタル
 施工／今津建設株式会社
 建築場所／神戸市西区糀台
 工期／平成21年4月～平成22年2月
 構造規模／RC造 地上6階建
 建築面積／638.23㎡
 延床面積／2,616.15㎡



敷地は地下鉄西神中央駅から徒歩5分と利便性も良く、商業施設や医療施設に近接しながらも雑踏性を感じさせない閑静な住宅地にあります。また、周囲の3方向が道路の角地で、北側には桜並木の遊歩道やテニスコートがあるなど、開放性と緑に恵まれた環境です。

華やかな装飾で人目を惹くという手法ではなく、デザインレス、シャープ、シンプルをキーワードに、“建築そのものの質”で存在感を表したいと考え、外観をデザインしました。

エントランスアプローチは回遊性を持たせ、ガラススクリーンと光に浮かぶ竹林を設けることで、「おかえりなさい」とアーティスティックな雰囲気 연출しました。





ひな壇造成地の宅盤に、様々な景色を取り込みながら、家族4人の気配を感じあえる住宅を目指した。

眺望・採光の確保を優先するために、隅角部に大きな開口を設け、構造的に不利になるのを、補強を兼ねた大きな出窓とした。各出窓は自由な角度と奥行きを持ち、リビングからみた景色を近づけ、逆にリビングにおいてはプライバシーを保つ役割を持つ。

各方角を向いた出窓には、入り込む太陽光と景色に合わせた用途を割当てることで、多様な出窓スペースの使い方が可能となる。朝日が入り、夜には景色の楽しめる出窓にはダイニングと寝室を、緑地を臨む出窓には畳の間と寝室を、南の光が入る出窓には縁側を、プライバシーの保たれた石垣に向く出窓にはバスルームと寝室を、北向きの安定した光の入る出窓にはキッチンが自然と配置した。「出窓の家」はリビングを中心に収納、動線、出窓の順に入れ子の空間構成とすることで、各部屋はリビングやロフトを介してつながり、行き止まりのない空間となる。



設計監理／株式会社 y+M design office

物件名／出窓の家

施工／株式会社キクシマ

建築場所／神奈川県川崎市麻生区

工期／平成21年10月～平成22年3月

構造規模／木造軸組構法2階建

建築面積／53.06㎡

延床面積／100.70㎡



設計監理／株式会社アトリエフルタ建築研究所
 物件名／エバーライフ加島
 施工／コーナン建設株式会社
 建築場所／大阪市淀川区
 工期／10ヶ月
 構造規模／RC造 地上5階建
 建築面積／664.62㎡
 延床面積／2,910.18㎡



大阪市淀川区の東西線加島駅にほど近い市街地に建つ介護付有料老人ホーム（60床）です。1階には30人規模のデイサービスセンターを併設しています。安全上居室はバルコニーでとり巻くような構成となります。大型の珧器質タイルによるボリューム感ある列柱のリズムで力強い安定感が得られました。





異人館が立ち並ぶ、神戸北野界隈の一角に立地することを踏まえて、建物のファサードをクラシカルな洋館風とし、エントランス部と基壇となる1階部分にはレンガ積みを思わせるタイル張りを施し、2階部分はエントランス部にアーチを設け、コンクリートの打ち放しとして石積みのイメージを表現し、何年経っても飽きのこない、むしろ時間が経てば経つ程、風格を増すような、どっしりとした落ち着いた感のある外観とした。内部は、1・2階共中央に広いロビーを設け、各保育室はこのロビーと連続性を保ちながら独立した空間となったり、園児同士の「ふれあいの広場」となるよう計画した。各階ロビーの天井は柔らかな感じを醸し出すためサークル状の設えとして、内装はできるだけ自然や木質の素材を使用し、園児の安全に特に配慮したディテールとしている。また、敷地に余裕が無かったため、3階の屋上を遊戯場として計画し、全面人工芝を敷き詰めると共に、電動式の日除け遮光シートを張り巡らし、プールや砂場・遊具等を配置した。



設計監理／株式会社 山本設計

物件名／社会福祉法人 神女きずな会 神女中山手保育園

施工／コーナン建設株式会社

建築場所／神戸市中央区中山手通2丁目23-2

工期／平成22年7月～23年2月末

構造規模／鉄筋コンクリート造 地上3階建

建築面積／529.09㎡

延床面積／1,172.54㎡

●●●「作品紹介」の募集と展示のご案内について●●●

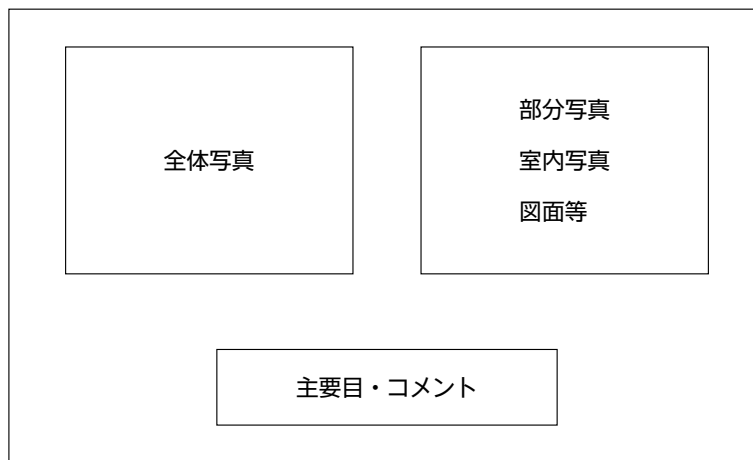
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

I 「作品紹介」募集について

1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

- ①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
⑨内容・コンセプト

*応募作品は返却しません。

2. 応募作品提出先

連絡先：〒657-0842 神戸市灘区船寺通4丁目5-21 成瀬設計事務所 宛(郵送又は宅配便)

TEL 078-862-0810・FAX 078-862-0811/Email:naruse2@gmail.com

本 年 度 作 品 展 示 状 況

関電エル・ギャラリー「のっぽ」での展示

◆日時：平成24年1月21日(土)～2月2日(木)【予定】

◆場所：神戸市中央区加納町6丁目2番1号

関西電力㈱神戸営業所 神戸関電ビル1F(市役所南側) エル・ギャラリー「のっぽ」

◆展示方法：当方で用意したA3透明硬質ビニールカードケースに入れて壁吊り掛け展示

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。



支部ホームページをリニューアルしよう！ 実はこの話は随分昔、平成13年度からありました。その頃、支部ホームページらしきものが既に存在し(図1)、そのお世話をされていたFさんに相談されて、“神戸支部ホームページバージョンアップ計画案”を提出したのは平成14年3月10日でした(図2)。



図1

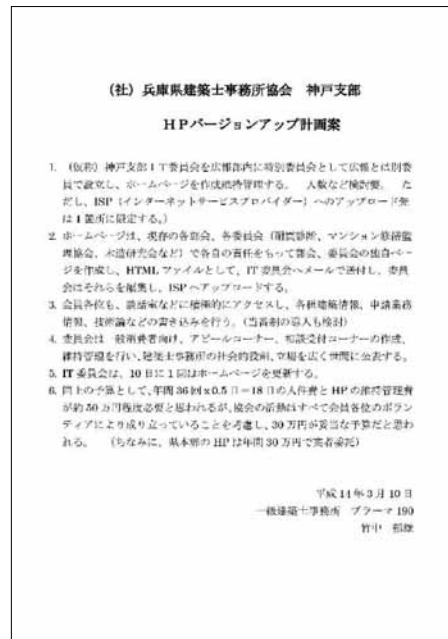


図2

それから彼是、ほぼ10年経って、建築士事務所協会が法定団体になった今、やっとこの度、神戸支部ホームページをリニューアルアップロードすることが出来ました。リニューアルするに当たって、広報部や理事会で相談した内容、悩んだ点等をここに時系列で皆様にご披露させていただきます。

●平成22年5月24日(月) 平成22年度「第1回 広報部部会」

神戸支部のHPについては全く活用されていないのでリニューアルについて意見を交換する。

- ・ 目的は何か？
- ・ 誰に向けて発信するのか？ 会員以外(一般人)にも発信？
- ・ 保守管理や更新は誰がする？ 常に変わる掲載内容の承認(内部承認)も大変難しいのでは？
- ・ 賛助会へのリンクは？ 等々、様々な意見を交換。

結果、神戸支部の活動内容が分かり、あまり、頻りに更新をしなくても良い内容、例えば、会員の名簿(顔写真、ひとこと自己紹介、趣味、得意分野等)などを一例として今後検討とする。ただ、広報部だけで検討するより、他の会員からも活用についての意見を求めるなども今後の課題とする。

●平成22年5月31日(月) 平成22年度「第2回 正・副支部長会(三役会)」

ホームページの充実

対象を誰にするか?

管理は誰がするか? 役員ですか? (役員ですか? ホームページに得意な会員を探すか?)

報酬を支払うのか? (HPの作成及び維持管理費用等)

(専門業者へ委託すると相当費用がかかる。何十万~何百万・・・)

本部のホームページとのリンク

●平成22年7月5日(月) 平成22年度「第3回 正・副支部長会(三役会)」

・支部ホームページを法定団体にふさわしいものにリニューアルすべき。

・ホームページ作成にかかる費用を提出

(外注先より見積、部会内でまとめ提出)

・会員向け、会員以外の建築士向け、市民向けの三本柱で進める。

・活動の紹介 ・事業の経過報告

・支部としての独自性を出すこと。

・アプローチの電子化(抜粋して載せる)

ただし、画像データではなく、検索エンジンで文字が認識できる形式にする。

・絶えず更新が必要な為、外注に頼らず広報部員等でもメンテナンス出来る様に・・・。

PDFを利用することで、印刷物として存在する「APPROACH」を活用できます。



印刷物を制作すると同じデータからデジタルデータであるPDFファイルを作成することができます。PDFデータはホームページを通じて、情報を整理した形で伝えられる優れたファイル形式になります。頁合巻で更新される際もシンプルでスムーズな運用が図れます。

安心できるホームページの更新・運用をご提案します。
Adobe Contribute (アドビコントリビュート) を活用します。



普通にホームページを見る感覚で編集するページを扱います。



ページが決まったら、「ページの編集」をクリック! 編集可能な状態となりウェブブラウザで編集できます。

Adobe Contribute (アドビコントリビュート) は Adobe から発売されているオーサリングソフト(編集ソフト)で、WEBサイト・ホームページを手軽に更新できるソフトです。画像、動画、PDFファイルといった各種データを配置したり、文字を変更したり追加する事が簡単にできるようになります。

Adobe Contribute (アドビコントリビュート)
24,675円

●平成22年8月9日(月) 平成22年度「第4回 正・副支部長会(三役会)」

・横浜市建築士事務所協会のホームページがコンテンツもしっかりしているので参考にする。

・兵庫県本部ホームページと同じ内容(会員名簿等)は避ける。

●平成22年8月10日(火) 平成22年度「第2回 広報部部会」

・神戸支部のホームページについて第1回部会と7月5日の3役会(前田、成瀬同席)での意見と本部のホームページリニューアルの見積書を参考に部員と意見交換。

・会員向け、一般建築士向け、市民向けの3本柱で作成する。いろいろと意見はあるが、広報部の部長を中心に何かタタキ台を製作会社の数社と打合せをして見積をとることとする。

・会員名簿は本部ホームページリンクとする。

・耐震診断てなに?(動画)もアップロードしたい。

●平成22年8月20日(木) 平成22年度「第2回 理事会」

市民向け、会員向け、一般会員向けの三本柱で検討中。予算約30万円。
今年度中のアップを目標に！

●平成22年9月16日(木) 平成22年度「第3回 広報部部会」

今後の制作予定の協力会社決定のため、製作会社3社のヒアリングと見積り内容を検討。
(9/2・9/3に事前に各社に見積り内容を指示済み)

1) 17:45~18:20 M社

- ・初期制作費は3社の中では安い。
- ・ソフトは自社で神戸支部に使いやすいように作成もできる。
- ・会社組織は実質1名で不安

2) 18:20~18:50 C社

- ・初期制作費は3社の中では高い。
- ・会社組織は3社で一番大きい
- ・際立った企画力が伝わらなかった。

3) 18:50~19:20 A社

- ・本部のホームページ、ビル・マンション神戸修繕監理協会の作成をしている。
- ・企画、費用など総合的にまとまっているようだ。
- ・会社組織も問題が無いようだ。

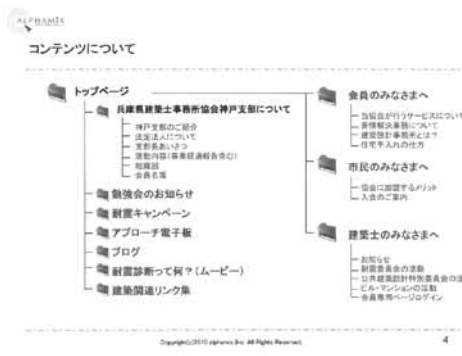
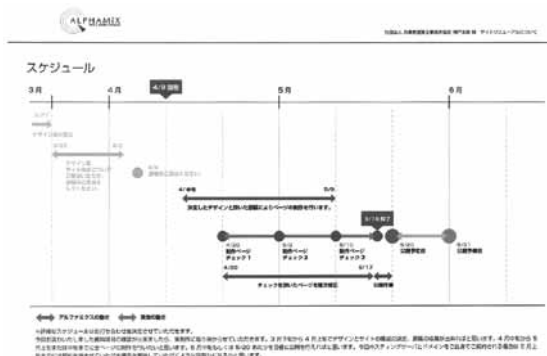
ヒアリング終了後、様々な検討をするが、業者を絞るところまで決定できず。9/27(月)に行われる事務所
キャンペーン実行委員会の中で時間を取っていただき3役と理事の意見を聞いたうえ、検討とすることとした。

●平成22年10月8日(金) 平成22年度「第3回 理事会」

- ・外部に委託作成してメンテナンスについて検討
会員で多少書き込みができる方向で検討。予算オーバー等のため広報部にて継続協議する。

●平成22年11月19日(金) 平成22年度「第4回 理事会」

- ・製作会社A社よりホームページ作成・運用方針、工程、費用説明
- ・製作については承認。詳細については継続協議。予算については再度交渉。
ホームページの管理については、体制が整うまで竹中副支部長が管理。



●平成23年4月28日（木） 平成23年度「定時総会」

- ・ ホームページリニューアルについて説明
- ・ アップロードは5月末の予定

●平成23年5月17日（火） 平成23年度「第1回 広報部部会」

- ・ 各コンテンツの原案作成成分担について既設までの役割案提示
広報部員だけでは今後ホームページの更新等、運営負担が大きいので、HP委員会のような組織を作
て欲しい（部長）
- ・ バナー広告は賛助会のみとして会員は対象外とする。
- ・ 賛助会員は本部HPのような社名、住所等だけではなく、企業アピール等も計上できないか検討。
- ・ 役割分担したページが出来上がり次第、随時作成会社A社に送付

●平成23年5月

- ・ 製作会社A社の環境の下、神戸支部ホームページ仮アップロード
- ・ 理事会メンバー、広報部員でチェック

●平成23年5月

- ・ 本部を通じプロバイダー契約
- ・ 市民向け、建築士向け、会員向け各ページの下部ツリーボタン形状について製作会社A社に修正依頼

●平成23年6月15日（火） 事務所協会神戸支部ホームページリニューアルアップロード

という流れで、やっと神戸支部のホームページがアップロードできました。皆様のご協力ありがとうございました。制作会社の皆様、ありがとうございました。

いかがでしょうか？建築士や建築設計事務所をアピールすることが出来ているのでしょうか？広く世間に(株)兵庫県建築士事務所協会神戸支部を広報出来ているのでしょうか？会員は元より、建築士の皆様や広く市民に情報提供できているのでしょうか？もちろん、まだまだ未完成で、問題もたくさんあり、常に更新をしていくことがもっと大切であることは重々認識しています。皆様からいろんなご意見やご感想、新しい情報をいただき、これからも支部ホームページを有意義なものにしていきたいと思えます。是非、こんなことをアップして欲しいとか、こんな情報があるよとか、どんなことでも結構です。ご意見、ご感想をお寄せください。会員の皆様、情報提供お願いいたします。賛助会の皆様、バナー広告や自社アピール原稿をお待ちしております。皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



★ちょっとひと休み★

プロのジャズメンの「CDジャケット」制作 2度の体験

(株)アーキノヴァ設計工房 代表取締役 柏本 保



204トリオライブ・ヴォーカリストが入った元のスケッチ
(第1弾CD用)

昨年12月に知り合いのジャズメンの新譜のCDジャケットにはからずも私の拙いスケッチが採用される運びとなりました。

事の発端は、昨年2月に甥が出入りしている猪名川町の“ライブ喫茶”に立ち寄り、経営者夫妻を紹介された事によります。御夫妻は私とほぼ同年代であり、私より少し年下のママは現役のジャズシンガーで、団塊世代にはなつかしい“スクールメイツ”の第1期生、少し後輩の“スクールメイツ”出身で、一世を風靡した“キャンディーズ”の元メンバーで今年急逝したスーチャンより少し先輩で、布施明のステージのバック等をよく務めていたようです。口の悪いマスターによれば、“キャンディーズ”のなり損ない(?)とのことでした。

若かりし頃のポピュラーソングの話題で盛り上がりましたが、その際毎月のライブにはなつかしの曲を演奏する私好みのいわゆる“大人のジャストリオ”の出演もあるのでライブには是非立ち寄ってほしいとのことでした。

その後毎月ライブの案内を頂いていたので、昨年6月19日の「204トリオ」というピアノ・ベース・ドラムスのジャストリオのライブ演奏を聞きに初めて出向きました。このトリオの良さは、適度にムーディで、うるさ過ぎず、色々なジャンルの演奏を楽しめることにあります。計2時間半の2ステージ共ママのボーカルのコラボが楽しめ、まさに大人のやすらぎのひとときを楽しむこととなりました。その際のママとのコラボの写真を2~3枚写真撮影していたので、その写真を参考に4人のライブでの情景をスケッチし、次の月のライブで「204トリオ」とママに記念にプレゼントしました。

その後何度か出向きましたが、数が月後ママを通じて「204トリオ」のバンドマスターから、12月にレコーディングするCDレコードのジャケットにこのスケッチを使わせてほしいとの申し入れがありました。



204トリオライブ・今回スケッチ (第2弾CD用)

手前みそですが、バンドマスターの言によると、演奏中のご自身の表情がうまく表現されており、御本人が非常に気に入っていると事でした。ただし、ただ一つ条件がありました。その条件とは、トリオの演奏のCDなので、センターポジションに鎮座しますボーカルのママの姿を消してほしいというものでした。

幸い水彩画ですので、ボーカルのママを砂消しゴムで残酷にも消し込みました。ママの後ろに大半隠れていたベースの正面の再現には写真がなく骨が折れましたが、何とかごまかし無事トリオのスケッチを完成しました。

私のスケッチは、まだ初めて2年足らず、はがき大に風景や建物、身の回りの物を素材に現在約120~130枚程度書き貯めておりますが、今回は思いもよらない体験をし、ジャケットの評判、CDの売り上げ共上々のようで正直ほっとしておりました。

この時のエピソードはこんな体験は2度とないと思い、日事連の今年9月号の「日事連フォーラム」に掲載しました。

ところが、今年に入り昨年発売したCDが好評で、204トリオは絶好調。CD第2弾を急遽発売することとなりました。そこで、バンドマスターから再度ジャケットのデザインスケッチの依頼がありました。今回のスケッチは前回に比べ少しはバージョンアップできたかなと自負しております。

今年11月2日にレコーディングが完了し、来年1月元旦に発売予定です。今回は、ママもゲストとして3曲ばかり歌うようです。

尚、今回はCDの解説書の一角に私の簡単なプロフィールを掲載していただくことになりました。

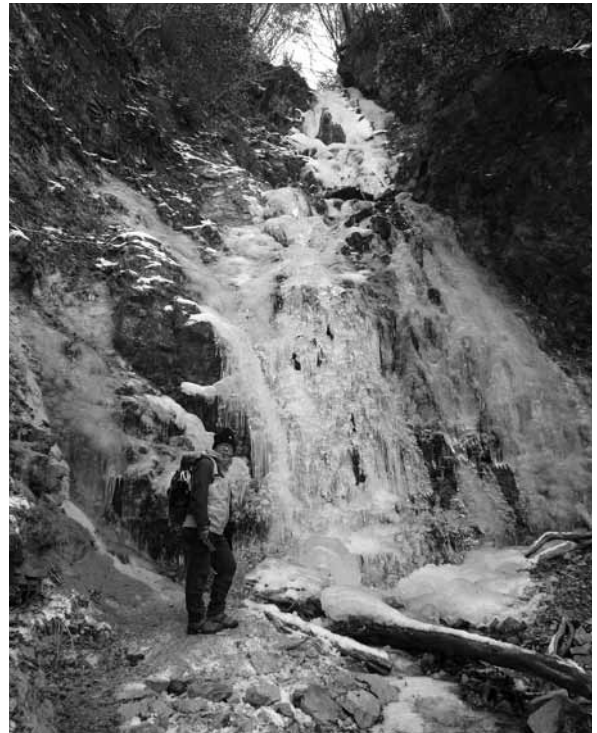
第2弾のスケッチもバンドのみんなに喜んでいただき、売り上げに多少なりとも寄与できれば幸いです。

★ちょっとひと休み★

裏山ハイキングへのお誘い

前田信行一級建築士事務所
前田 信 行

私は阪神大震災の1年半前に結婚し阪急六甲駅の近くに住居を借り、新婚生活を始めました。ご存じのとおり、阪急六甲と言えば六甲山への玄関口で麓のケーブル駅行きのバス、山頂方面のバスもあり、山を楽しむには絶好の地です。だからと言って、それを特別の理由にこの場所に住むことを選んだ訳でもないのですが、環境に流されたのでしょうか、くるぶしまであるハイカットの登山靴を買ってしまった時から、何時しか家内と暇つぶしに仲良く山に遊びに行くようになっていました。六甲山の登山道が書いてある地図を買って走破したハイキングルートに赤鉛筆でなぞるのが面白く、毎回、日帰りで10km程度のコースですが、みるみる、赤い線だらけになって行きます。その後、阪神大震災の後、私の自宅と仕事場は六甲山系の摩耶山の麓に移り、子供もでき、何年か中断したのですが、気晴らしや日頃の運動不足



冬の六甲山紅葉谷にて

の解消で現在も気の合った友達と気候の良い季節には月に2度程度のペースで裏山に入っています。ところで山歩きも北アルプスや南アルプスなどの3000m超級の高い山もあれば1000m以下の低い山の山歩きもあります。私は3000m級の山も歩いたこともありますが、もっぱら、家族、友人などと日帰りで裏山に行きます。裏山だからと言っても六甲山系は素晴らしい山です。春は桜の花が5月上旬まで楽しめます。夏は天然クーラーが効いています。秋は紅葉、冬は雪景色を楽しめ

ます。その他、森林植物園、高山植物園、牧場、展望台、有馬温泉と盛りだくさんの観光地もあります。当然、公共の交通も発達し、突然のアクシデントによるコース変更もケーブル、ロープウェイ、バス、タクシー、時にはヒッチハイクなどを使えば比較的容易です。大概、自身でコースを計画し、安全に行動するにはどのような装備が必要か。季節や気象、同行者は誰か、子供か大人か？など いろいろと計画を練りま





4月下旬の摩耶山の桜

す。そして大汗をかいて山頂に登り切れば、心地良い達成感に包まれます。鍋とコンロをリュックに詰めて、お昼の弁当の友に温かいカップラーメンでも食べれば、それは最高の気分です。それにその後、山を下りたら温泉にゆったり浸かり、湯上りにビールを飲めば・・・スポーツというものはたくさんありますが、ゴルフなどのようにスコアを気にして毎回、反省することもありませんし、誰でも、一人でも、いつでも始めようと思えばできるスポーツだと私は思っています。最近山歩きもカラフルな衣装を着た「山ガール」を多く見るようになってきました。アウトドアショップにはブランドメーカーが機能的で



修法ヶ原の紅葉

ファッション性もある様々な衣装や道具をごぞつて販売しています。男女を問わず山中では派手な衣装を着て歩くのは流行のようです。私も、山ガールに負けず、安全に健康で流行のオシャレを楽しみながら裏山のハイキングを続けたいと思います。共感できる方は共に歩いてみませんか？是非お声をお掛け願いたいものです。最後に私のお勧めのコースがあります。

参考にしてみてください。そして、長峰山は穴場です。頂上は360度のパノラマですよ。



トエンティークロスにて

お勧めコース

1.六甲最高峰・有馬温泉(一般向き)

阪急芦屋駅～ロックガーデン～風吹き岩～芦屋ゴルフ場～雨ヶ峠～七曲がり～軒茶屋～六甲最高峰～魚屋道～有馬温泉

2.摩耶山山頂・六甲山牧場(家族向き)

三宮～摩耶ケーブル～ケーブル～摩耶ケーブル山頂～摩耶山上(掬星台)～穂高湖～六甲山牧場～摩耶山上～ロープウェイ～摩耶ケーブル山頂

3.トエンティークロス・森林植物園(家族向き)

新神戸駅～布引の滝～トエンティークロス～森林植物園～神戸電鉄谷上駅

4.保壘岩・六甲最高峰・百間滝・有馬温泉(健脚向き)

阪急六甲駅～六甲ケーブル～保壘岩～神戸ゴルフクラブ～凌雲台～極楽茶屋～紅葉谷～百間滝～有馬温泉

草屋根運動

一級建築士事務所YURI DESIGN 前田由利

●はじめに

1998年に自宅である「御影草屋根の家」が竣工して以来、個人住宅を中心に、38件の「草屋根」(木造傾斜屋根の緑化)が竣工した。それぞれ、立地条件や建て主の要望が異なり、草屋根はいろいろな形になっている。

●草屋根の目的

草屋根の目的は、まず、室内環境の向上である。

大阪府立大学の山田宏之教授が「御影草屋根の家」の室内外の温度を測定して解析した結果によると、屋根を緑化するとアスファルトシングル葺きにした場合に比べ、真夏に屋根からの侵入熱量が20分の1になるという結果が得られた。(表1)

表1 冷房負荷

	草屋根	カラーベスト
室内侵入熱量	12.7W/(㎡・日)	278.2W/(㎡・日)
空調負荷	100	2191

屋根からの熱の影響をほとんど受けないといっ
てよい。

その他、屋根の照り返しがない。リフレッシュ
の場になったり、収穫を楽しんだりできる。

●A 屋根の形状

屋根の形状は勾配さえ適正であれば、どんな形
でも大丈夫だ。納まりのポイントは以下のとおり。

①勾配

屋根勾配は、登って怖くない程度であるこ
と、土が流れにくいことなどから、基本的には
3寸くらいまでとし、高所が苦手な施主には、
もっと緩勾配で設計している。

②アール屋根

アール屋根は、棟部分で土留めのボルトが防
水を傷つける心配がないので、草屋根では一番

安心して施工できる。通常、棟が乾燥しやす
く、軒先が湿気を多く含むが、アール屋根のと
きは、棟が水平で保水しやすく、軒先は勾配が
きついので排水しやすいため、屋根全体の水分
量のバランスが良い。(写真1)



③切妻屋根

切妻の棟部分は、頻繁に踏まれて傷み易いこ
とと乾燥しやすいこと、土が減りやすいことを
考慮して計画する。まず、軒先より、棟のほう
に土を多めに施工し、芝は、ずれにくいように
棟をまたぐように置く。棟には、土留め金物を
固定する突起を取りつける。(写真2)



④片流れの屋根

上部にパラペットを立ち上げ、笠木にボルト
を取りつけて土留めを吊るす。

⑤けらばと軒のデザイン

立ち上げをつける場合とつけない場合の2通
りがある。

散水は手まきがよいが、夏場、旅行などで留守をするときのために、タイマーをつけて、自動灌水する。しかし、自動灌水は、どうしても水の出方にむらがあるので、注意が必要。

●G プランニング

建物をどう配置するかで、草屋根の見え方、使われ方は大きく変わってくる。

①草屋根の向き、配置



斜線制限などの制約をクリアしながら、周囲からどのように見せるのか、屋根に座ったお気にどこを眺めたいか、などによって草屋根の方向が決まる。

「こおひい麓」は喫茶店である。

店の看板として草屋根をかぶせている。道からよく見えるように平屋とし、軒を低くして、入口付近の地植えの植物と一体になるようにデザインした(写真5)。

一般に、南面の屋根は、夏場乾燥しやすく、北面の方が水やりは楽である。

②中からの視線・外からの視線

家の中からも草屋根が見えると楽しい。

また、周囲の家からの視線を草が防いでいるときもある。

③屋根へ出るルート

ルーフバルコニーや庭からハシゴで屋根に上るケースと、天窗から直接屋根に上るケースの2通りがある。トップライトから直接屋根に上ってしまうのも楽しい(写真6)。ルーフバルコニーが必要ないので、ローコストにもなる。



④緑をつなげる

せっかくの緑の屋根なので、地面の緑とつながれば良いと思う。わずかな地面にムベを植え、竣工後2年で、屋根の緑とつながる家もある(写真7)。この緑のカーテンは、2階の浴室窓の目隠しにもなっている。

●H 草屋根の会

草屋根の普及を目指して2010年10月に草屋根の会を発足した。

施工現場の見学や、設計者、施工者、ユーザー、一般の人たちが参加する研究会を定期的開催する。さまざまな分野の人たちが知恵を寄せ合い、草屋根の問題点を改良したりして、今後、より社会的に屋根緑化が身近なものとなるようにするための活動を行う。

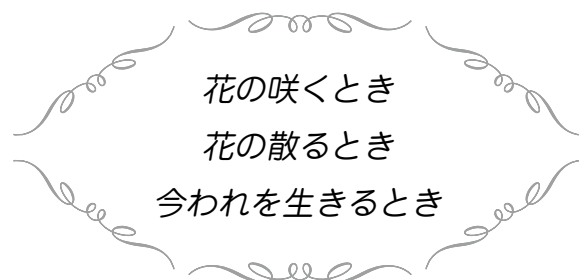


東日本大震災に思う

(株)東郷建築設計 東郷正道

11月20日に行われた大阪府、大阪市のダブル選挙は、非常に痛快な結果になりました。3月11日の東日本大震災を考える時、9ヶ月たった今でも、建築事務所業界の一員として、空前絶後の大災害の最中と感じざるを得ません。地震による崩壊や、津波による住宅、産業施設の根こそぎの奪い去り、加えて和歌山の台風豪雨による被害等もありました。

この災害が、国全体の産業経済に深刻な影響を及ぼしている今こそ、あの選挙には、日本を変えていきたいという意味が含まれていると思います。



この詩は、皇太子妃のご家族と師弟関係にあった書家の小川東洲先生の作で、札幌の公園に石碑に刻まれています。吾れ今を生きるという意味は、将来に希望を持って今を生きるということで、正に長い人生で花の咲くような良い時もあれば、花の散るような良くない時もありますが、今こそ3月11日の東日本大震災に対して、我々に与えられた使命を問われている気がしてなりません。

阪神淡路大震災以来、既に行政にも強く現れてきています耐震事業も、正に現震災の先がけで、私自身も耐震診断員として微力ながら努力し、一件一件良くなっていく状況に生き甲斐を感じています。今、何をやらなければならないか、建築事務所として何をしなければならないか、常に常に考えていかなければならないと思います。

構造屋として東日本大震災に思う

(株)ジョインウッド 波多野 隆之

昨年3月の東日本大震災における「石巻市北上総合支所」の惨状は目を疑うと同時に、目を見張りもしました。

河北新報社よると

『少なくとも57人の住民や職員らがいたとみられるが、無事が確認されたのは職員2人と小学生1人だけだった。庁舎は指定避難所だったにもかかわらず、生存率はわずかに5%。多くの人が犠牲になってしまった。』

さらに

『勤務先から戻る途中の男性は、妻から「子供と支所に避難したから心配ないよ。」と電話を受けて「大丈夫だな」と思ったが、それが最後の会話となった。』

とも伝えていきます。

「石巻市北上総合支所」は2006年に建築された、事務所棟と公民館（アリーナ、図書室、研修室など）から成る、2階建、2400㎡の公共建築です。

構造は、事務所棟は木造軸組工法（金物工法）、公民館はRC主体で小屋組木造との混構造です。

地震と津波で、RC主体の公民館は見るも無残に倒壊・全壊し、木造の事務所棟は骨組だけはしっかり残っていますが、外壁のほとんどが剥がれ流されてしまいました。

その結果、公民館の研修室などに避難していた多くの方が犠牲になったそうです。

構造を知っていたかどうかは別にして、「事務所よりも大きな建物」「コンクリートの建物」ということで、公民館の方に避難されていたと思われ

ます。

私は木質構造専門の構造事務所を主宰している関係で、この建物は以前から興味深く見ていました。

プランとしては、事務所棟は間仕切りも多く、四角い整形なのに対して、公民館は、全体的に弓なりにアールが付いた扇型のプランで、2階の床に大きな吹き抜けがあり、階高も高く、構造的には難しいプランです。

まったく以って想定外の地震であり津波であったことは間違いないです。でも、なくなった方、ご家族の方は悔やんでも悔やみきれないでしょう。

東日本大震災では、地震による建物被害が比較的少なかったと伝えられていますが、しかし、この他にも多くの方が、倒壊していく建物の中で、流されていく建物の中で、想像できないほどの恐怖と悲しみを感じたに違いありません。構造屋としては、その事実を謙虚に真摯に受け止めて、日々の仕事に役立てることが使命と考えています。



自然界との共生…

| 建築設計事務所 五百旗頭 洋一

時の経つのは早いもので阪神淡路大震災が起きてから十七年の時が過ぎようとしております。

自分自身や家族、仕事仲間の皆さんもその時には悲惨な体験をされた方も多かったのではないかと推察されます。

そういった辛い経験の傷もある程度癒えた時に今回の東日本大震災が起きました。元々、自然とは雄大で美しいものではありますが、時として姿、形を変え、荒々しく牙を剥く時があります。今回の悲しい出来事はまさにその典型ではないでしょうか。これだけ科学技術が発展している世の中でも、人間の力では如何ともし難いのでしょうか。

私は縁あって事務所協会に入れて戴き、先輩諸氏の力添えもあって神戸市の耐震改修計画策定の業務に携わらせて戴く事になりました。

この仕事は煩雑で大変な作業ではありますが、それにより人命が救われ、又住民が安心して暮らせるお手伝いをさせて戴く事は非常に意義深い仕事だと感謝しております。

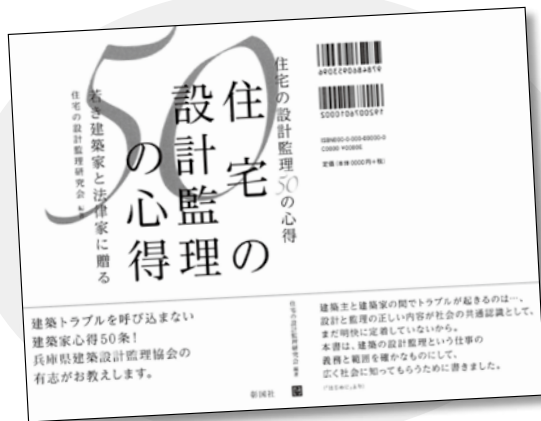
東日本大震災が起きてから建築事務所協会からも現地宛に義援金が送られた事は困っている方々に対し意義深い事とは思いますが、私個人の意見では次回そういう手を差し伸べる機会が有りましたら、色々制約があり難しい問題とは思いますが、先輩諸氏と共に神戸の地で培った住宅の耐震技術を現地で活用出来るようにして戴けたら有り難いと思います。微力では有りますが引き続き皆様と一緒に貢献出来る様、精進したいと思います。



工事監理に関する本

兵庫県設計監理協会会員 萩尾利雄

近日中に、『住宅の設計監理 50の心得—若き建築家・法律家に贈る』と題する本が出版されます。



兵庫県設計監理協会の部会『法律勉強会』における成果をまとめた本です。

2000年頃から、工務店の倒産が徐々に増えていました。建物が竣工した後に欠陥が発覚した場合、工務店が健在であれば対処の方法もあるのですが、工務店が倒産していればその苦情が監理者へ寄せられてきます。

小生の周りでも、設計事務所が裁判に巻き込まれる事例が顕著になっていました。建築士の責任は、生涯ついてきます。法人への責任追及とは異なります。

このような時代背景があり、建築家があまり目を向けられない民法の勉強をするために、小生が『法律勉強会』を立ち上げました。会の顧問弁護士を

交えて勉強会を始めました。やがて、建築家の責任追及の多くが工事監理に関する事項であることがわかってきました。

工事監理に関しては、法文が少なく解釈が多様になされることがその原因であろうと考えられます。社会的にも欠陥建物をなくする為には、工事監理に期待が寄せられています。

ところが、現在は工事監理の実態に関して、市民・法律家。建築家ともども理解不足であります。

この本は、工事監理に関して、様々な人たちに理解を深めていただくことを目的としています。特に若手の建築家には、大変参考になる内容となっています。

又、建築のトラブル相談を重ねてきた経験では、法律家の中には、建築の専門用語さえ理解されていない弁護士が裁判を担当してされていることが多いのです。裁判官もしかりという現状です。これでは、まじめに工事監理をおこなっている建築家が裁判に巻き込まれた場合、建築家の主張が正しく判断される見込みはどうでしょうか？大変不安です。ぜひ法律家にも読んでいただきたい本です。

建築家の脇の甘さがよく指摘されますが、この本を通じて少しでも責任追及を受けることがないような工事監理方法を見出していただければ良いと考えています。

ウッドピタ工法の特長

1 開口部補強に最適

窓を塞ぐ必要がありません。
窓部での補強が可能です。

日本に多くある南側に窓が多い建物では、バランスよく補強する際に在来工法では窓を壁等で塞ぐ必要が出てきます。ウッドピタは窓を塞がず補強ができるため、通風・採光を確保した補強ができます。フレームタイプの場合は1階南側窓部の多い建物には最適です。

2 外付け工法でありながら確かな耐震性能

外付け工法でありながら

- ブレースタイプ（1間スタンダードタイプ：壁強さ倍率）6.2KN/m
- フレームタイプ（1間タイプ：柱1本当たりの短期許容せん断耐力）5.5KN/本

外付け施工でありながら、在来の主流の構造用合板と同等以上の壁強さを有します。1構面あたりの強度が高いため、補強箇所数を減らすことができます。また、外壁のリフォーム済のお宅にも最適です。

3 (財)日本建築防災協会 技術評価取得

ブレースタイプは (財)日本建築防災協会の技術評価を取得

国立大学施設や公立学校舎、保育園舎、駅舎などの公共性の高い建物でも採用されています。兵庫県では、ブレースタイプ、フレタイプとも補助金対象工法となります。



■ブレースタイプ (スタンダード)



■ブレースタイプ (2階対応タイプ)




■ブレースタイプ (入隅対応タイプ)




■フレームタイプ

[お問い合わせ先]

 株式会社ウッドピタ

耐震技術をリードする
 矢作建設工業株式会社
YAHAGI 東証・名証一部上場(コード1870)

大阪支店：〒540-0034 大阪市中央区島町2-1-10 FAX/06-6966-0876

《24時間受付中》
 0120-260-220

www.woodpita.co.jp

ウッドピタ

検索

平成23年度 1級建築士 設計製図試験

合格者の半数以上は当学院の受講生

当学院
教室開講都道府県
合格者占有率

No.1

当学院教室開講都道府県 合格者占有率

当学院教室開講都道府県合格者 4,369名中 2,259名

51.7%

他講習
利用者
+
独学者
当学院
受講生

※当学院教室開講都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。
 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。
 ※上記、当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。
 ※上記エリアから隣県の当学院開講教室にて受講し合格された方は、合格実績に含んでおりません。 ※上記、占有率および合格者数はすべて平成23年12月15日 18:00に判明したものです。

平成24年度 受験対策

1級建築士講座

日曜コース 1月8日
水曜コース 1月11日
開講

平成24年度 受験対策

2級建築士講座

日曜コース 1月15日
水曜コース 1月18日
開講

2級建築士 新試験 完全対応 宣言

2級建築士 試験	
平成23年度 学科試験	平成23年度 学科試験
当学院受講生 基準達成者合格率 97.1%	当学院受講生 基準達成者合格率 82.3%
<small>9割出席・9割宿題提出・模擬試験60点以上 受講生515名中、合格者597名</small>	<small>9割出席・9割宿題提出・模擬試験のランク がAの基準達成者141名中、合格者116名</small>

平成22年度 宅建試験
当学院受講生 基準達成者合格率 92.5%
<small>当学院、合格バックアップシステムの基準である9割出席・ 9割宿題提出・公開統一模試得点率9割以上の 受講生40名中、合格者37名</small>

1級建築施工管理技術検定	
平成23年度 学科試験	平成22年度 実地試験
当学院受講生 基準達成者合格率 88.8%	当学院受講生 基準達成者合格率 87.6%
<small>9割出席・9割宿題提出受講生160名中、合格者142名</small>	<small>9割出席・9割宿題提出受講生509名中、合格者446名</small>

充実の企業支援

無料

ハイレベルなスキルと高い倫理観を持つ建築技術者。
その育成を通し安心・安全な社会に貢献していきます。

各種合格ガイダンス

- 1級建築士学科・製図
- 2級建築士学科・製図
- 宅地建物取引主任者
- 1級建築施工管理技士学科・実地

Web学習サービス

- 1級建築士学科
- 2級建築士学科
- 宅地建物取引主任者

模擬試験・社内講習会

- 1級建築士学科・製図
- 2級建築士学科・製図
- 宅地建物取引主任者
- 1級建築施工管理技士学科・実地

有資格者育成プラン作成

- 一日プラン
- 年間プラン
- 新入社員研修プラン
- 内定者学習サポート

	株式会社 総合資格	株式会社 総合資格学院法定講習センター
法定講習	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監理技術者講習 公共工事及び重要な民間工事の専任の監理技術者となるための必須講習 ■ 宅建登録講習 宅建本試験で問題の一部免除(例年5問) ■ 宅建登録実務講習 実務経験2年未満で主任者資格登録を受ける方は必須です 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築士法に基づく 1級・2級建築士定期講習 改正建築士法により建築事務所所属する建築士は、3年度ごとの建築士定期講習の受講が義務付けられました。 ■ 建築士法に基づく 管理建築士講習 建築士事務所の管理建築士になるためには、建築士として3年以上の所定の業務経験を積んだ後、管理建築士講習の受講が必要です。

確かな実績に基づく
指導ノウハウで合格に導きます

無料 体験入学会
講座説明会

合格めざすあなたの最強パートナー ▼いますぐ! ウェブ検索 ▼

- 最新試験情報が満載!
 - 合格応援グッズプレゼント中!
 - 資料請求や受講申込も受付中!
- 総合資格
- www.shikaku.co.jp

開講
講座

1級・2級
建築士

宅地建物取引主任者

1級・2級建築施工管理技士

インテリアコーディネーター

全国に広がる合格ネットワーク **全国69拠点**

受験対策書籍出版 —— お求めは全国有名書店および当学院ホームページにて



総合資格学院

●PCサイト
総合資格
www.shikaku.co.jp

●ケータイサイト
<http://gakuin.jp/>

神戸校 / TEL.078-241-1711
姫路校 / TEL.079-224-1411

梅田校 / TEL.06-6374-1411
新大阪校 / TEL.06-6101-1911
京橋校 / TEL.06-6882-8211

なんば校 / TEL.06-6648-5511
高槻校 / TEL.072-686-6721
堺校 / TEL.072-222-9311

京都校 / TEL.075-352-3011
草津校 / TEL.077-566-6911
奈良校 / TEL.0742-30-1511

軽量調湿シート建材

SKカイツキテイラー SK KAITEKI TAILOR

調湿・消臭機能で、空間をカイツキにする新感覚シート建材
薄型・軽量でリフォームにも最適



詳しくはホームページをご覧ください <http://www.sk-kaken.co.jp/>



建築仕上材の総合メーカー

エスケー化研株式会社

本社:大阪府茨木市中穂積3丁目5番25号 TEL.072-621-7733

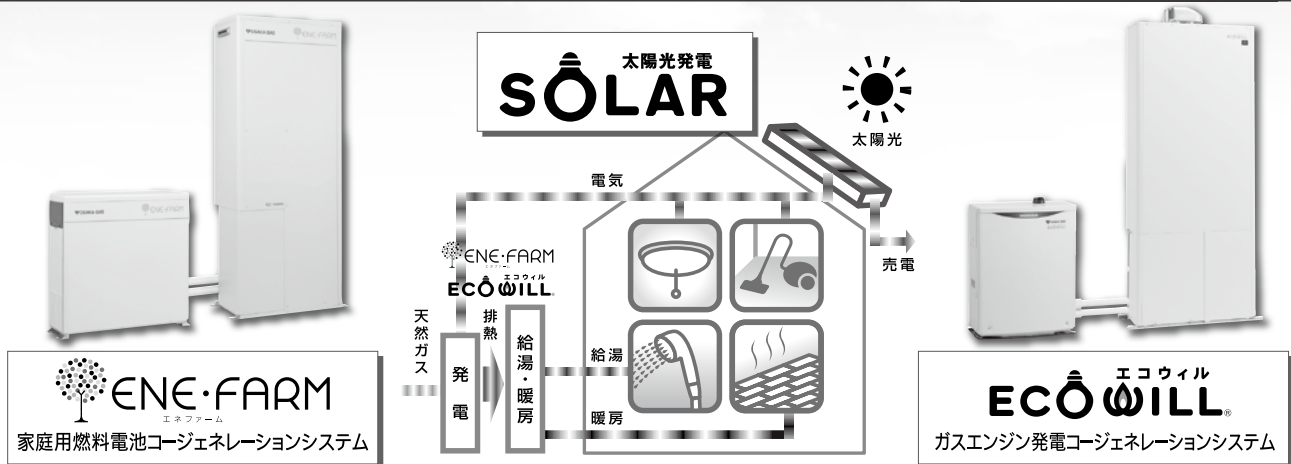
SK KAKEN

神戸営業所:兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5-1

TEL.078-671-0451

「エネファーム×太陽光発電」「エコウィル×太陽光発電」なら 環境的にも経済的にも優れています!!

これから電気は「使わず」に「売る」時代。
太陽光×ガスのハイブリッドなら売電量が増えてエコノミー!



お問い合わせは

グッドライフ
コール
0120-000-555

受付時間

平日 8:00~20:00
日祝 9:00~17:30

大阪ガス家庭用ガス機器総合情報サイト

http://home.osakagas.co.jp/search_buy/index.html

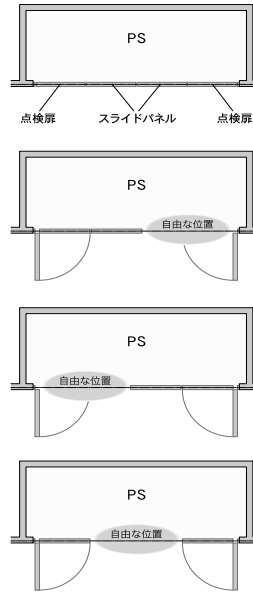
Design Your Energy 夢ある明日を

大阪ガス

自由な開口位置を実現する、スライド点検扉



■ スライド点検扉



用途に合わせて 選べる3タイプ

- スライド点検扉
- 高遮音タイプ
500Hz: 36.9dB
(通常施工)
 - 遮音タイプ
500Hz: 28.4dB
(通常施工)
 - 標準タイプ

コア周りには 高遮音タイプがおすすめ

遮音性に優れた高遮音タイプは、建物コア部の騒音が気になる空調や各種機器などの収納に適しています。また、スライド扉には金物が露出しないうえ、ロックの数を最小限にとどめることができます。

小松ウォール工業株式会社 <http://www.komatsuwall.co.jp/>

□本 社 / 石川県小松市工業団地 1-72 / (0761)21-3131
□神 戸 営 業 所 / 兵庫県神戸市東灘区御影塚町 1-9-33 / (078)856-8181



みなさまの暮らしとともに。

Life with SANWA SHUTTER

夜が明ける。

朝の光が差し、一日のはじまりが告げられる。

住まいやお店のシャッターが開き、「おはよう」。

マンションのドアが開き、「行ってきます」。

街ではさまざまな施設が目覚まし、

出入口に人が行き交いはじめ、活気に満ちていく。

私たちはシャッターやドアなどの

誰もがごく自然に利用するスチール建材をご提供しています。

安全・安心・快適をスローガンに

都市空間、商空間、住空間のさまざまなシーンで

みなさまの幸せを守ることや、笑顔をつくるお手伝いをしています。

これからも変わらず、みなさまの暮らしとともに。



■アプローチ42号投稿のお願い

本誌面を通じ会員の交流や意見、研究等の発表の場として活用して戴きたく、会員・賛助会様には、内容については自由ですのでたくさんのご投稿をお待ちしております。

投稿先

〒657-0822 神戸市灘区畑原通3丁目8-12-101

前田信行一級建築士事務所 前田信行

TEL.078-881-5640/FAX078-871-0123

E-mail : maeda-ao@mud.biglobe.ne.jp



編集後記

今年度の日本は多くの大きな自然災害、歴史的な円高、欧州から連鎖した経済市場悪化など我々のまわりは大変厳しい環境にあります。その中、この広報誌“アプローチ”についてご理解を頂き、お忙しい中、また、それぞれ立場の難しい中、投稿していただいた皆様方のおかげで、例年にも増して東日本大震災に関する特別企画をはじめ、各紙面で充実した内容となり、皆様の手元に本誌を届けることが出来たと感謝しております。昨年、京都の清水寺にて発表される2011年を表す漢字は“絆”でした。まさしく、この広報誌もその“絆”があればこそ、作成できると改めて感じました。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。そして、次年度も、この“アプローチ”へのご理解とご協力よろしく願いいたします。

前田信行

■編集 集 社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
広報部 担当副支部長 竹中 郁雄
広報部長 前田 信行
担当理事 成瀬 秀一
スタッフ 戎 眞弓
東郷 正道
波多野隆之
賛助会 大阪ガス(株) 平井 保夫
関西電力(株) 玉田 義樹
三和シャッター工業(株) 三原 芳之

■発行 行 社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
神戸市中央区二宮町4-11-10
〒651-0093
株式会社 山本設計内
TEL 078-231-2921
FAX 078-231-2924

■編集 集 デジタルグラフィック株式会社
神戸市中央区弁天町1番1号
TEL 078-371-7000
FAX 078-371-7001